

## 土木学会「見える化データ」 2012

土木学会が現在どのような状況にあるかを、目先の現象や各人の印象に捉われることなく、様々なデータを基にできる限り正確に把握し、それを踏まえて今後の方針を議論し、決定していくことは極めて大切である。また、その内容を学会員のみならず広く社会に公開し、開かれた学会として、より良い方向へと発展し続ける必要がある。

このような視点のから、土木学会では「90年誌」（土木学会略史1994－2004）作成を機に、各部門においてデータを継続的に整備することを行ってきた。そして、「JSCE2010」を策定するにあたり、このデータを企画部門に集約する体制を整え、「見える化」と称して学会の現況把握および公表に向けてデータを集約することとし、各項目の時系列変化を捉えてきた。ここでは、その中から特に重要なものを抜粋し掲載する。データ更新は毎年とし、理事会での報告の後、ホームページで公開する。また、5年ごとの土木学会の活動目標と行動計画（「JSCE20XX」）の策定の際には、この結果を再整理するとともに参考資料として掲載することとしている。

2012年7月31日現在

## 1. (学会の基礎数値)

土木学会組織図

会員区分別会員数

性別会員数

総収入と総支出

収支状況

図書館来館者数

支部行事開催数

支部行事参加者数

## 2. (学術講演)

年次学術講演会 講演数と参加者延べ人数の推移

年次学術講演会 部門別講演数の推移

年次学術講演会 部門別講演数の推移(1996年を1.0とした場合)

土木学会論文集 掲載数

土木学会論文集 掲載数(1997年を1.0とした場合の推移)

土木学会論文集 投稿・掲載・返却数

土木学会賞 表彰件数

調査研究部門 委員会活動参加者数

## 3. (社会とのコミュニケーション)

記者発表数

ホームページの閲覧状況

論説一覧

国際ジョイントセミナー開催数と派遣者数

新刊数と刊行物売上額の推移

## 4. (社会への直接的貢献)

トークサロン参加者数

イブニングシアター参加者数

技術者資格 認定者数

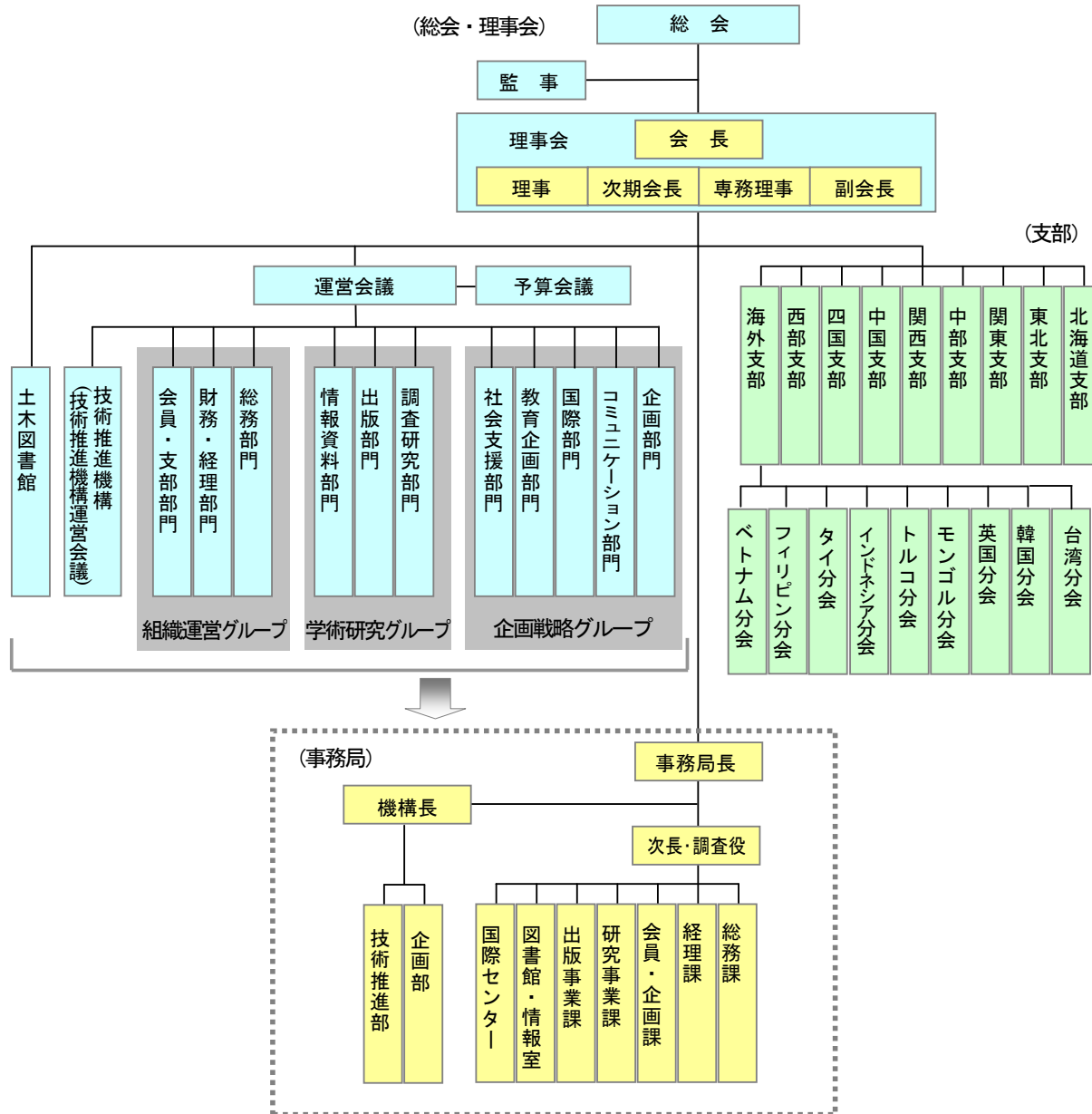
CPD認定プログラムの推移

災害調査団派遣実績

小中学校学習支援

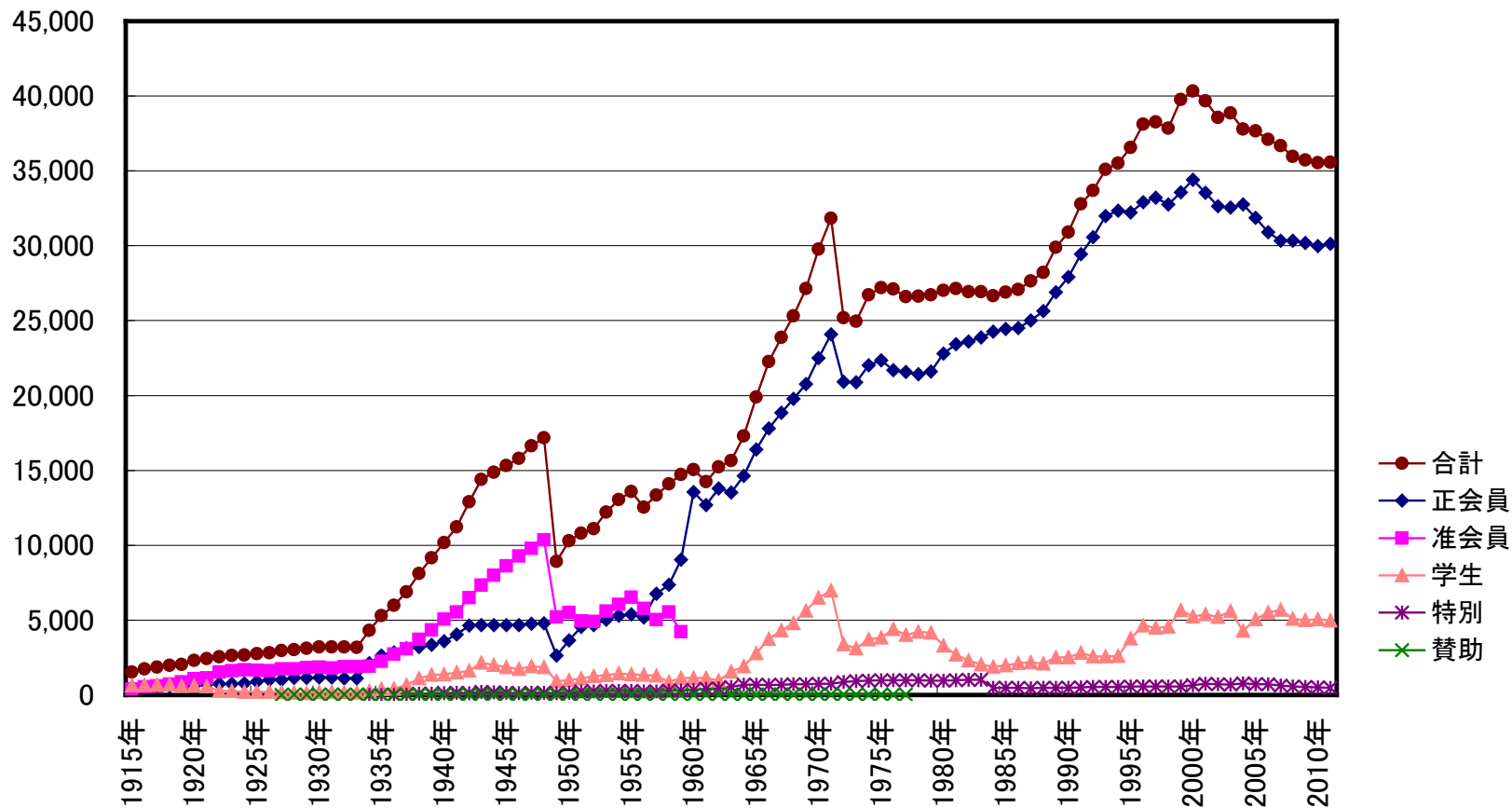
支部行事開催実績

# 土木学会組織図



# 会員区分別会員数

会員数(人)



\* 1984年以降は定款改正により名誉会員は称号となり正会員数に含まれる。また、法人正会員制度となり特別会員と分離した。

\* 正会員数は、個人正会員数と法人正会員数の合計。

\* 1914年～1943年については、40年史データ

\* 1944年、1945年については、推定値

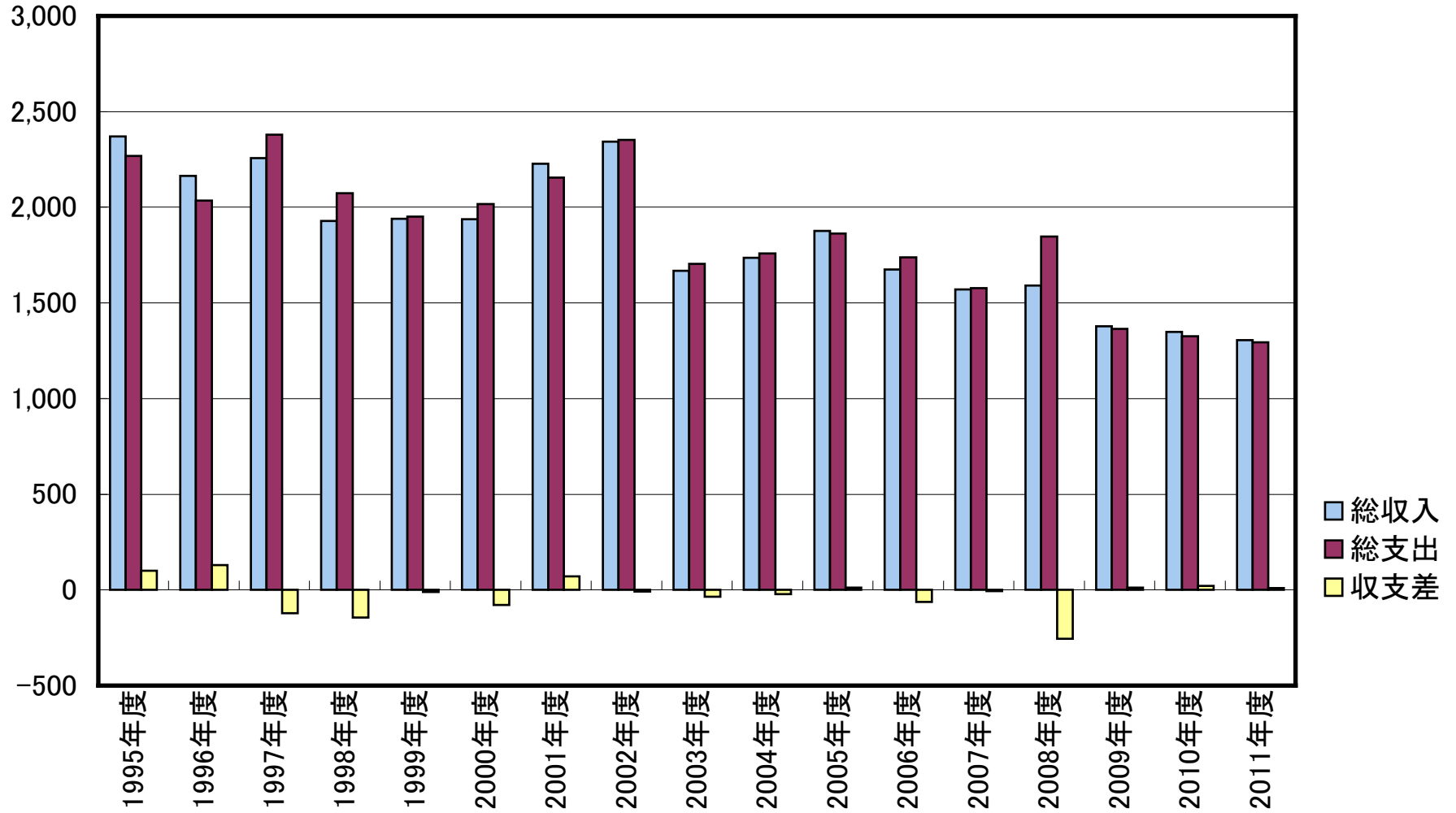
\* 1946年～1994年については、80年史データ

\* 1995年～2003年については、90年史データ

\* 2004年～2010年については、会員課調べ

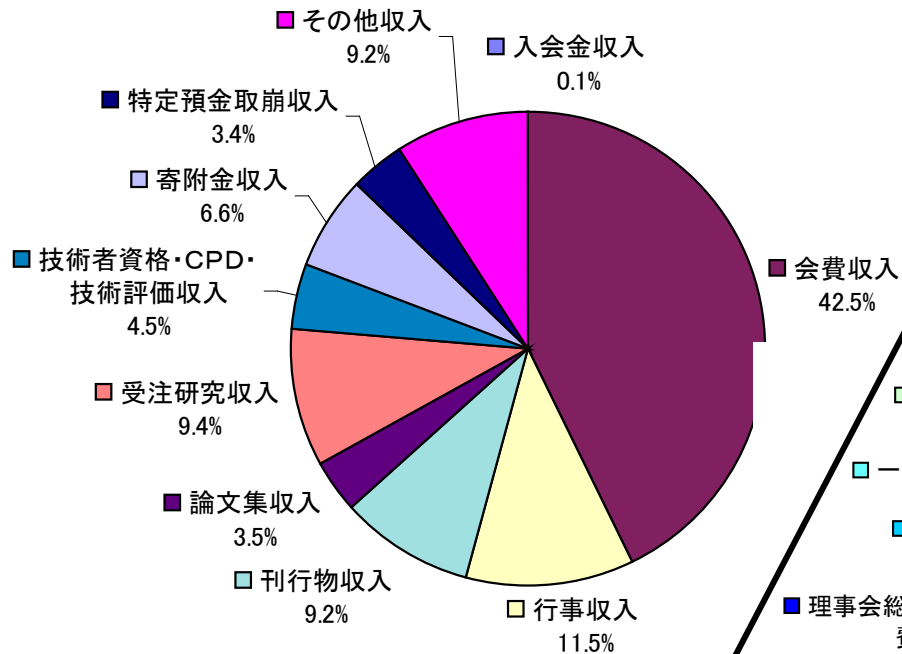
# 総収入と総支出

(百万円)

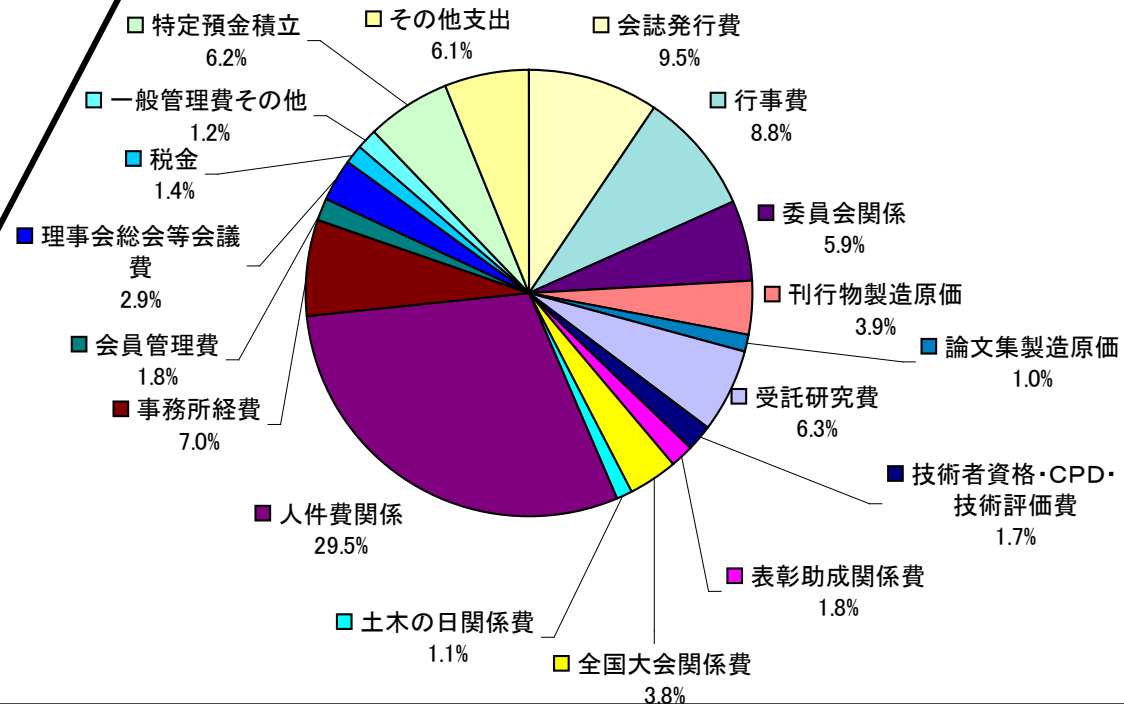


# 収支状況

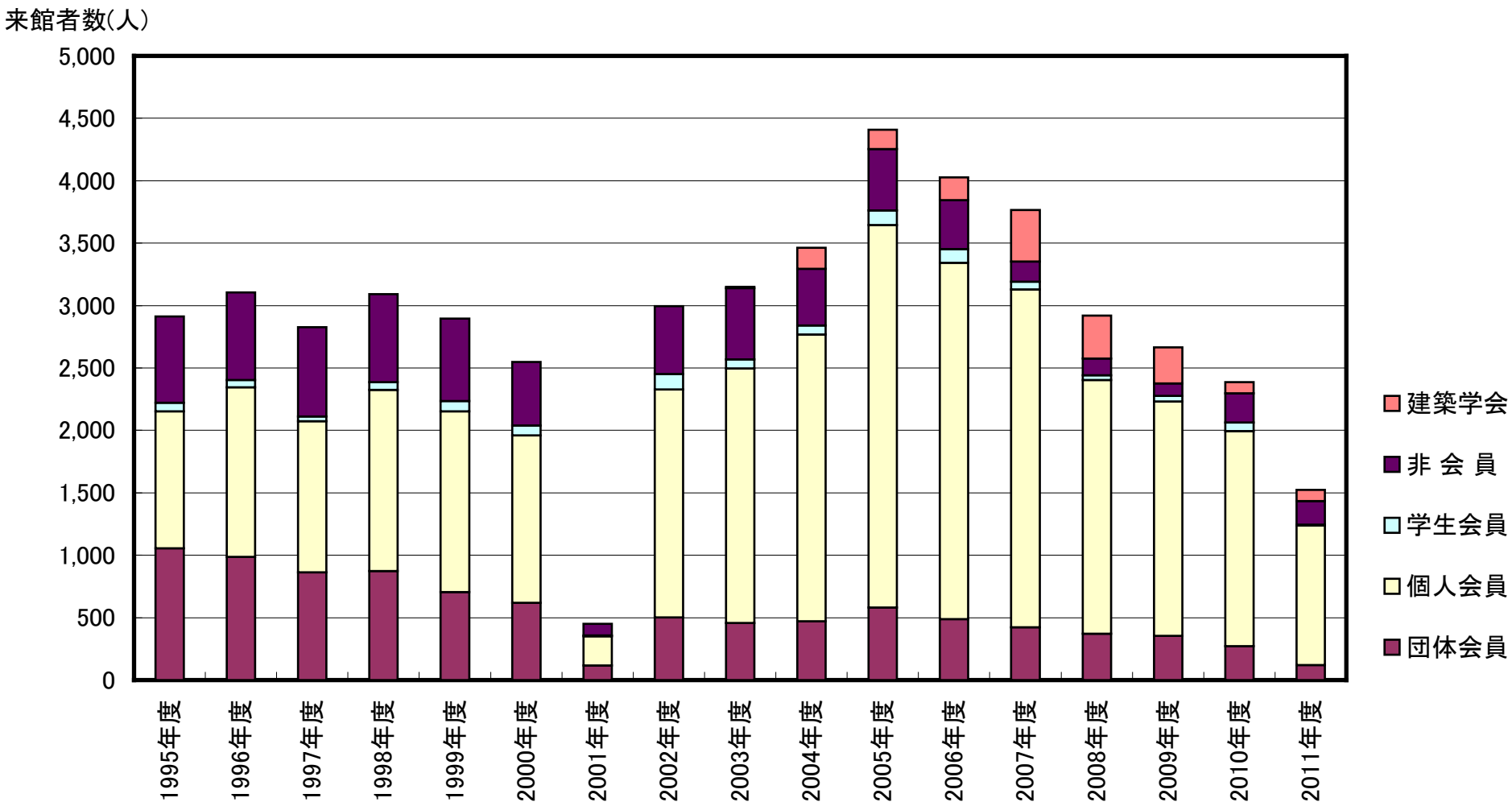
## 2011年度収入内訳



## 2011年度支出内訳



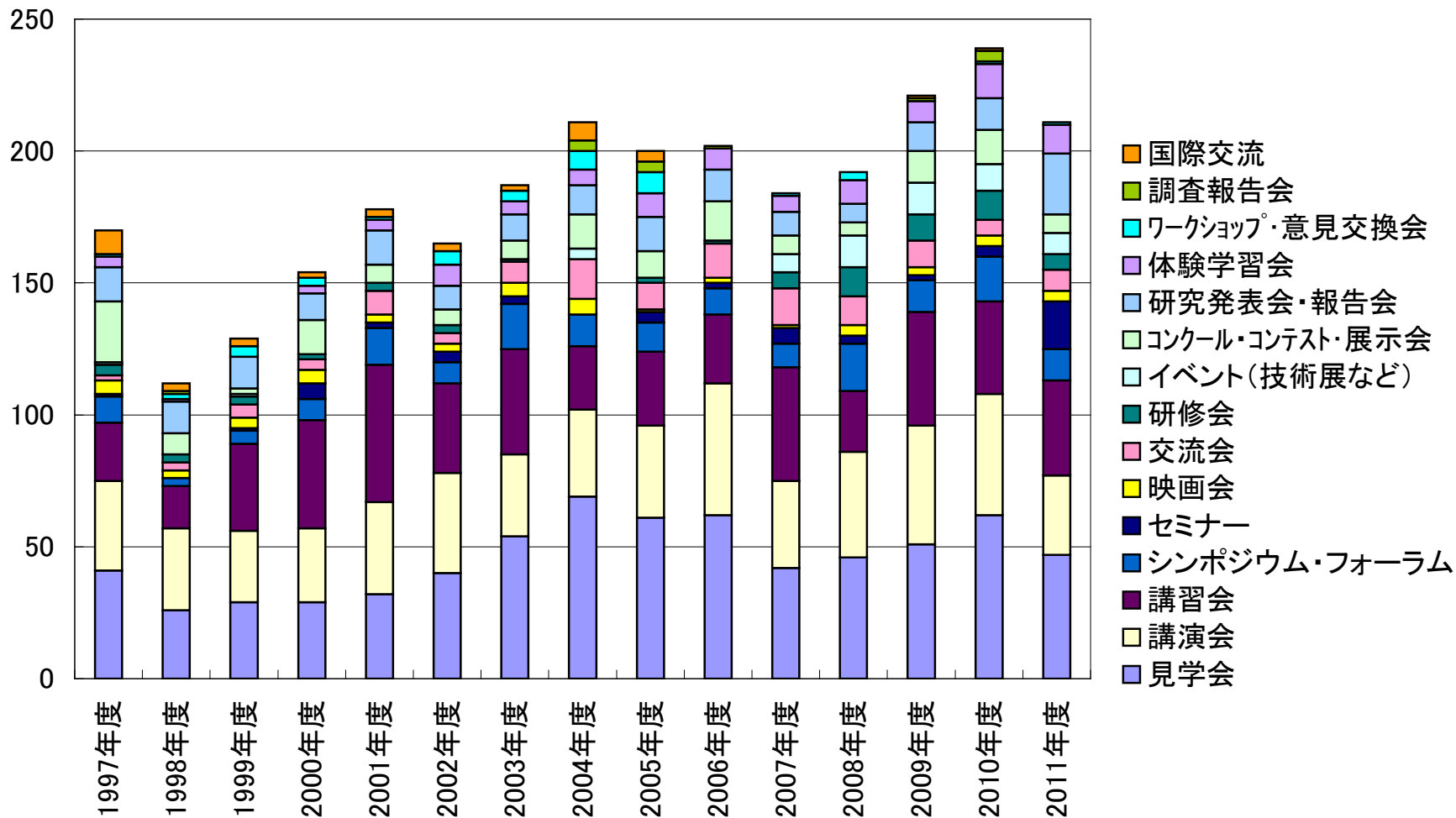
# 図書館来館者数



注 2001年度に改修を実施

# 支部行事開催数

開催回数





# 支部行事参加者数

参加者数

50,000

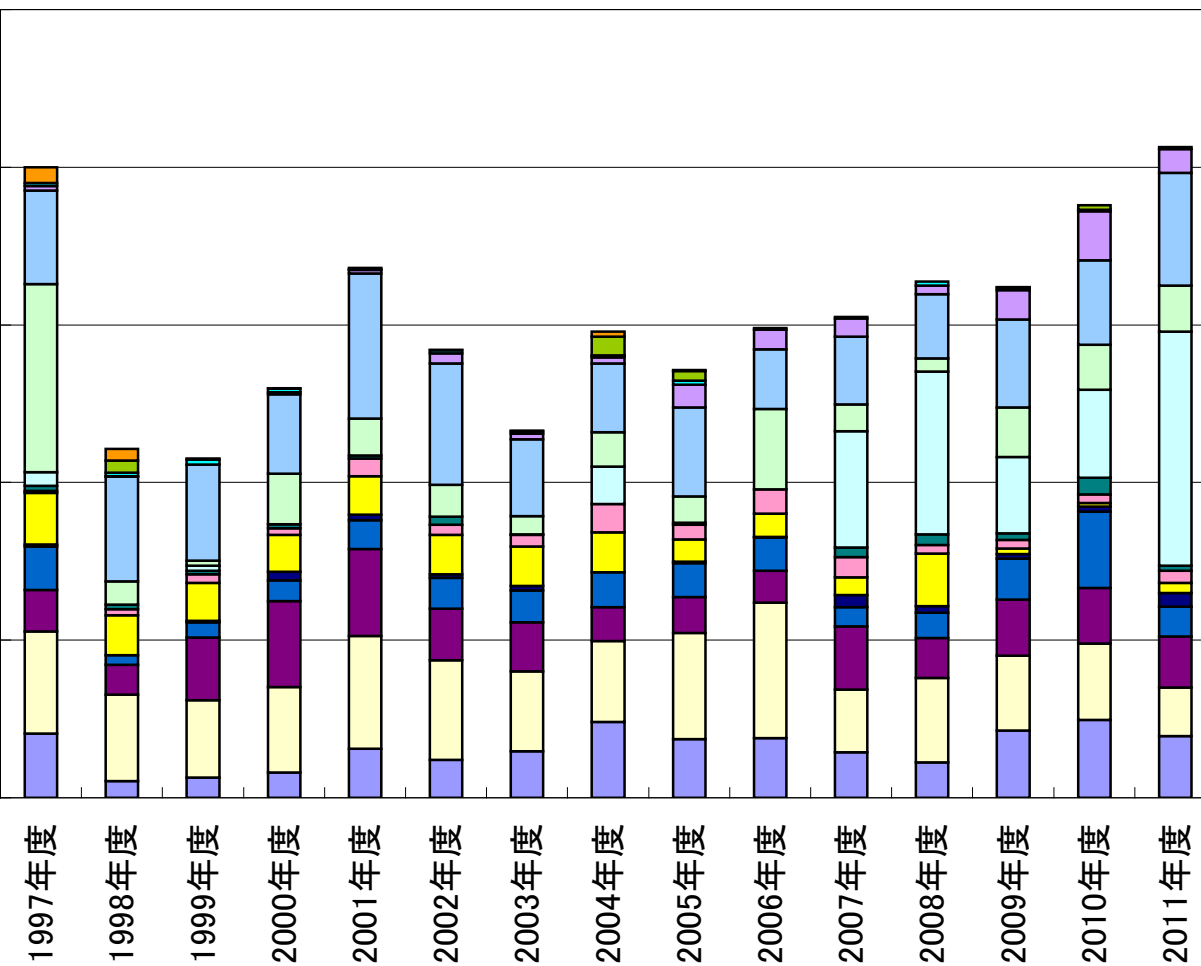
40,000

30,000

20,000

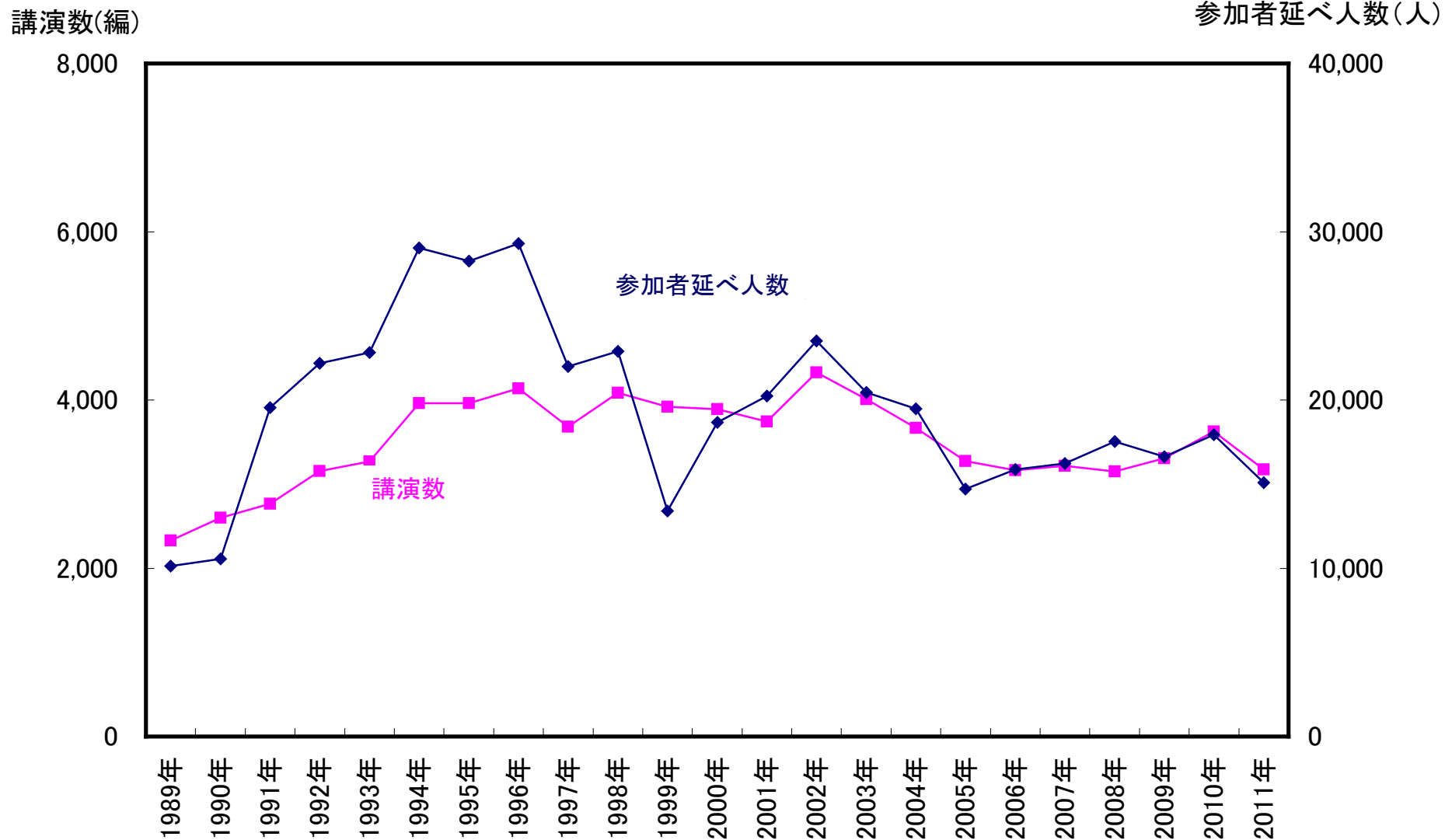
10,000

0



- 国際交流
- 調査報告会
- ワークショップ・意見交換会
- 体験学習会
- 研究発表会・報告会
- コンクール・コンテスト・展示会
- イベント(技術展など)
- 研修会
- 交流会
- 映画会
- セミナー
- シンポジウム・フォーラム
- 講習会
- 講演会
- 見学会

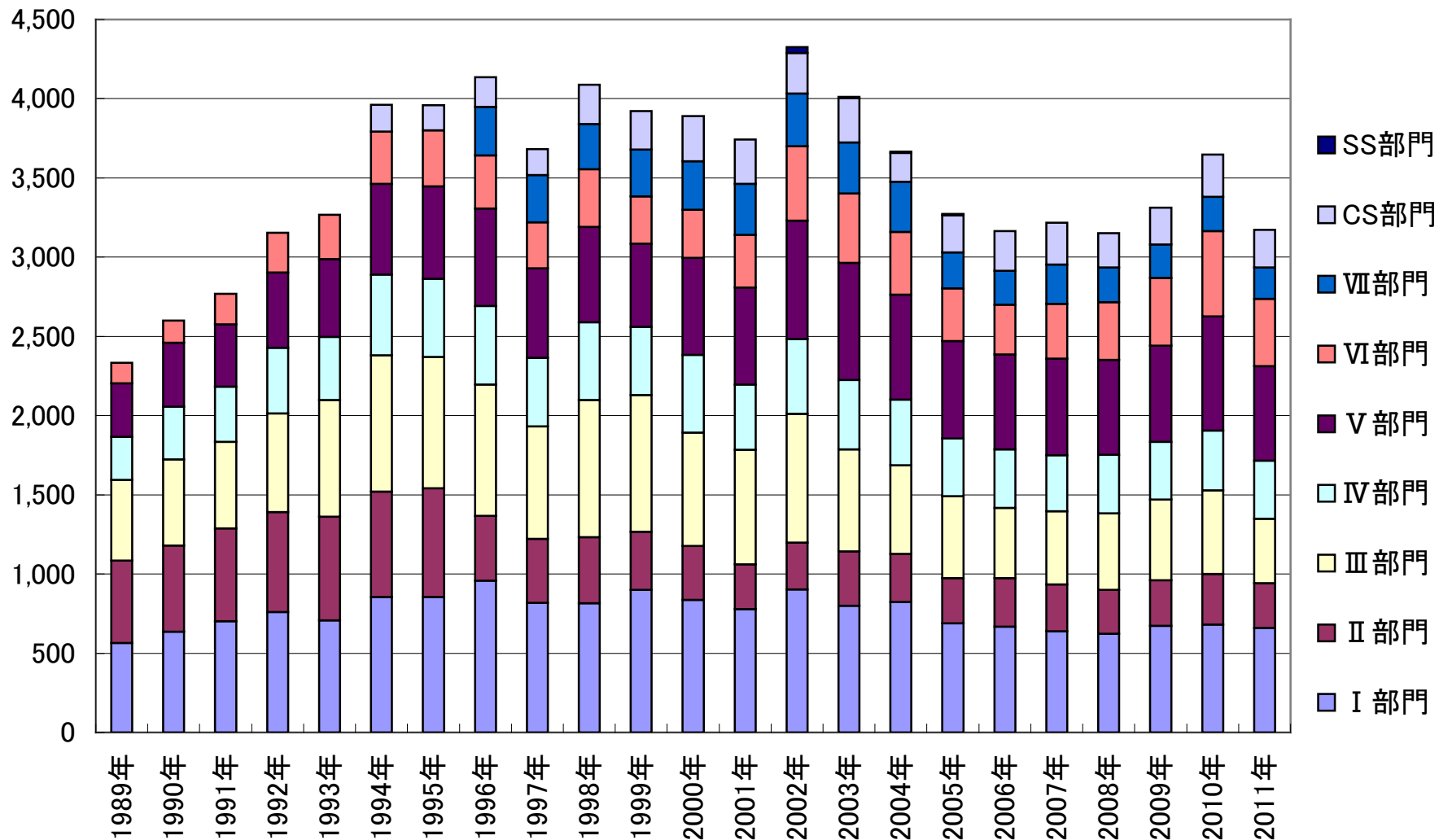
# 年次学術講演会 講演数と参加者延べ人数の推移



- \* 1999年広島大会は台風のため投稿数で集計
- \* 参加者延べ人数は各セッションの参加者数の合計

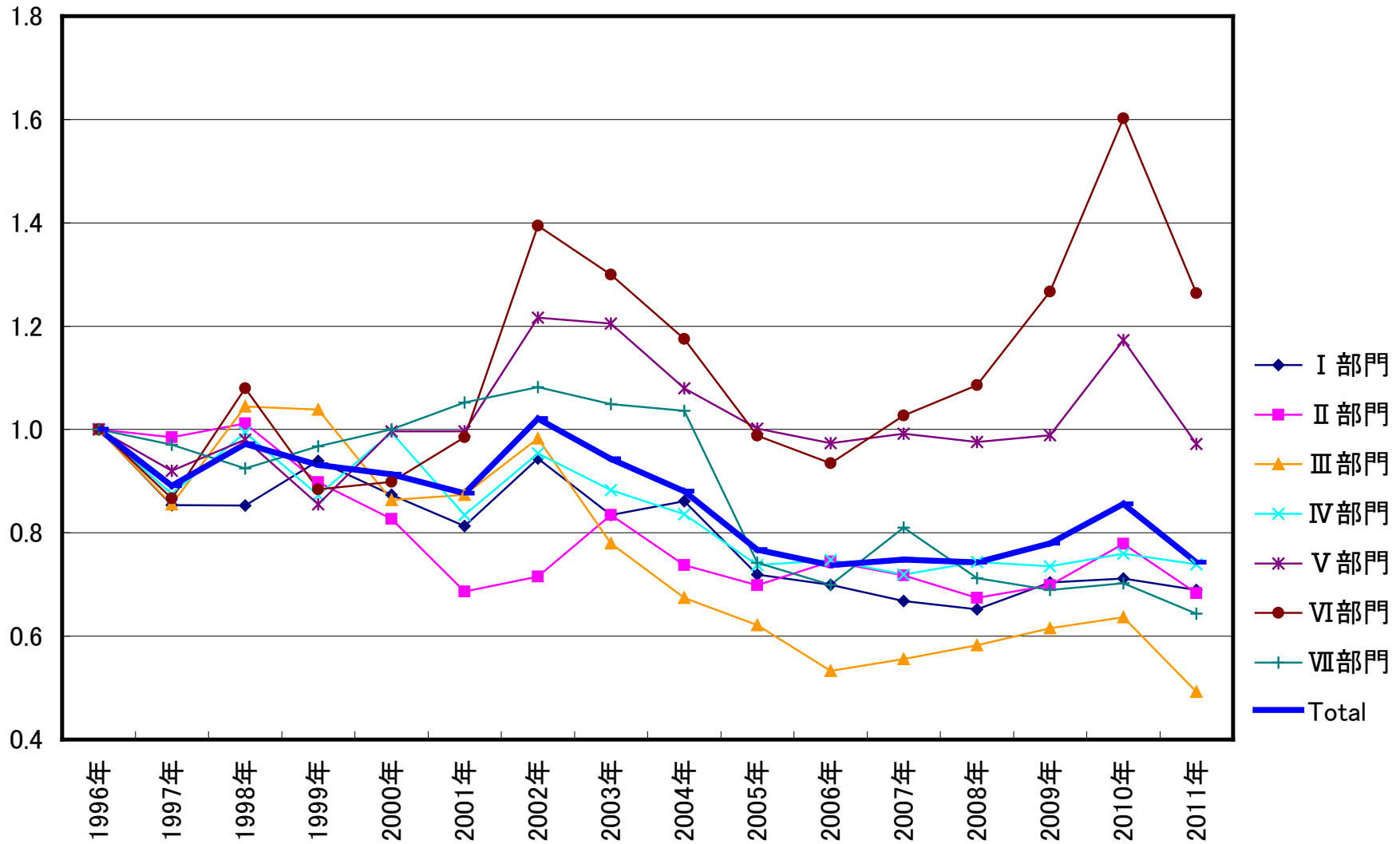
# 年次学術講演会 部門別講演数の推移

講演数(件)



\* 1999年広島大会は台風のため投稿数で集計

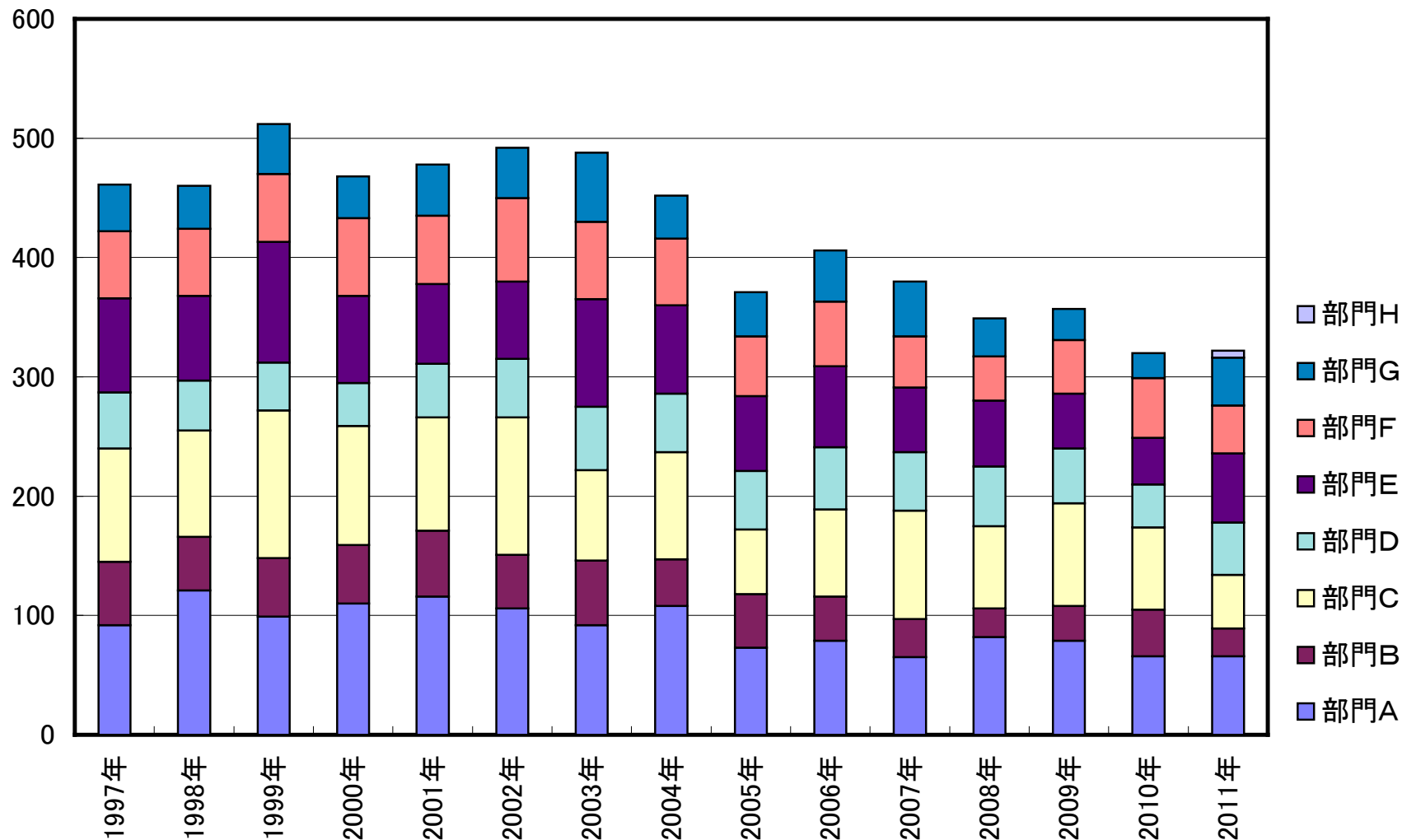
# 年次学術講演会 部門別講演数の推移(1996年を1.0とした場合)



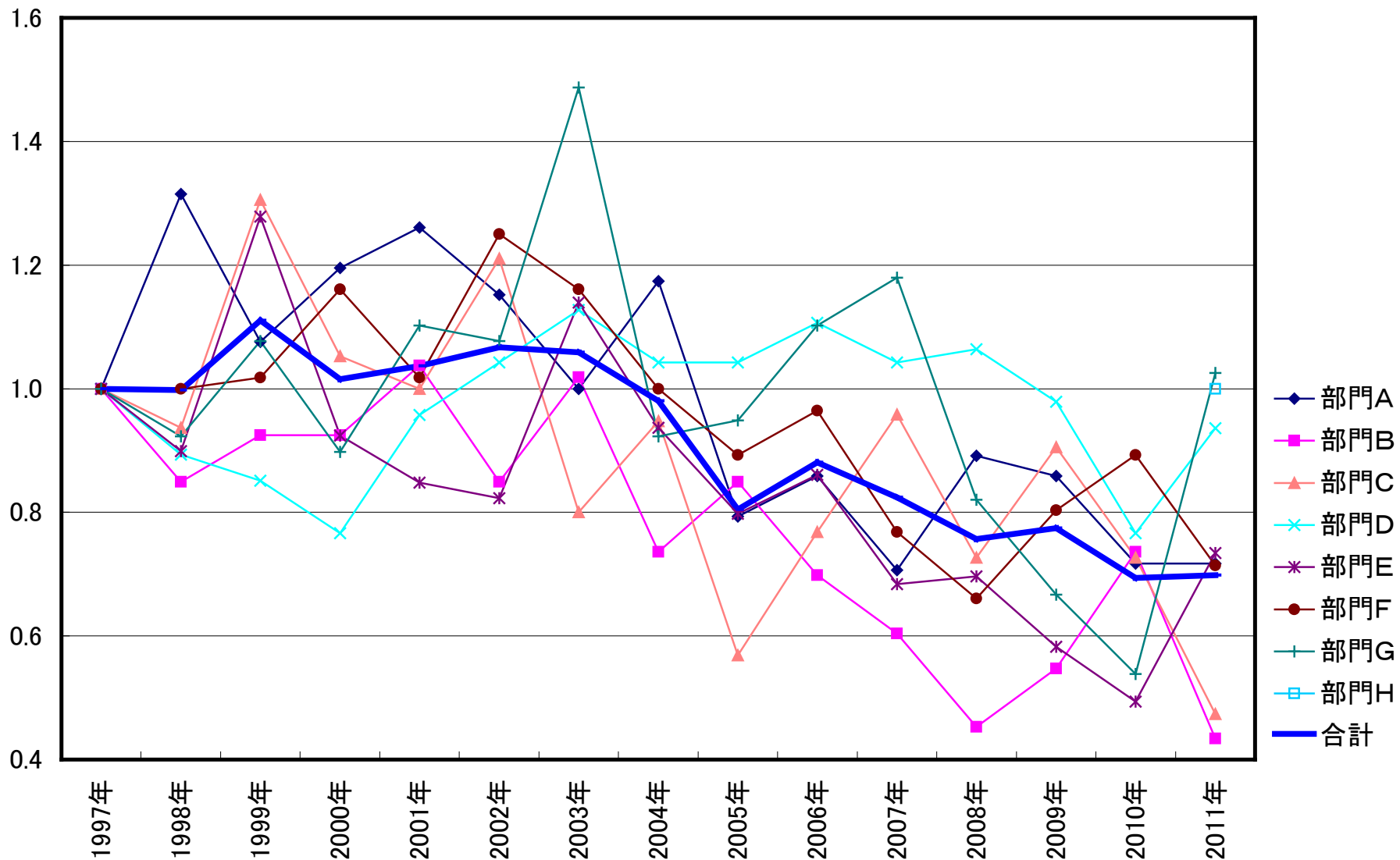
\* 1999年広島大会は台風のため投稿数で集計

# 土木学会論文集 掲載数

掲載数(件)

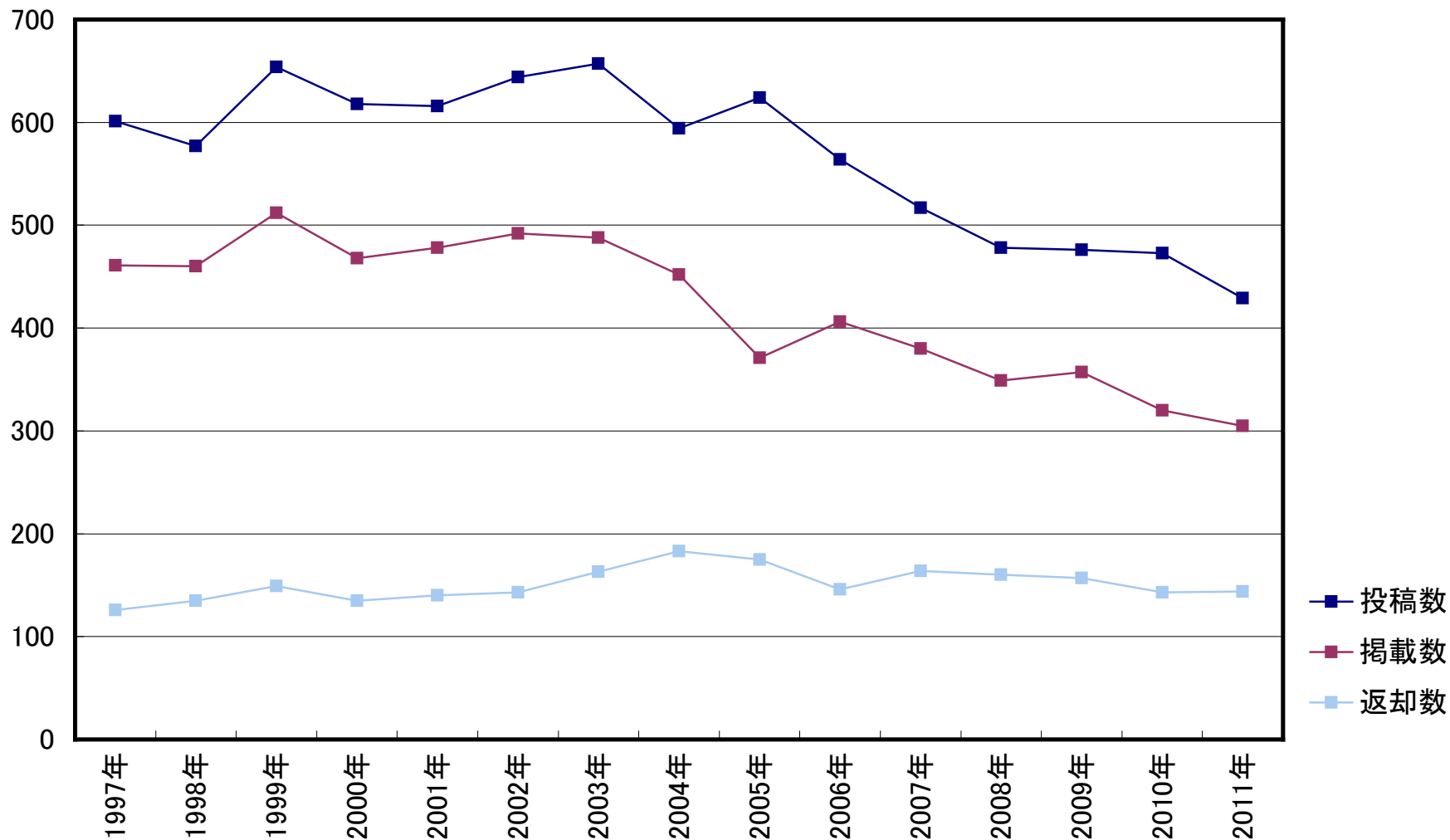


# 土木学会論文集 掲載数 (1997年を1.0とした場合の推移)



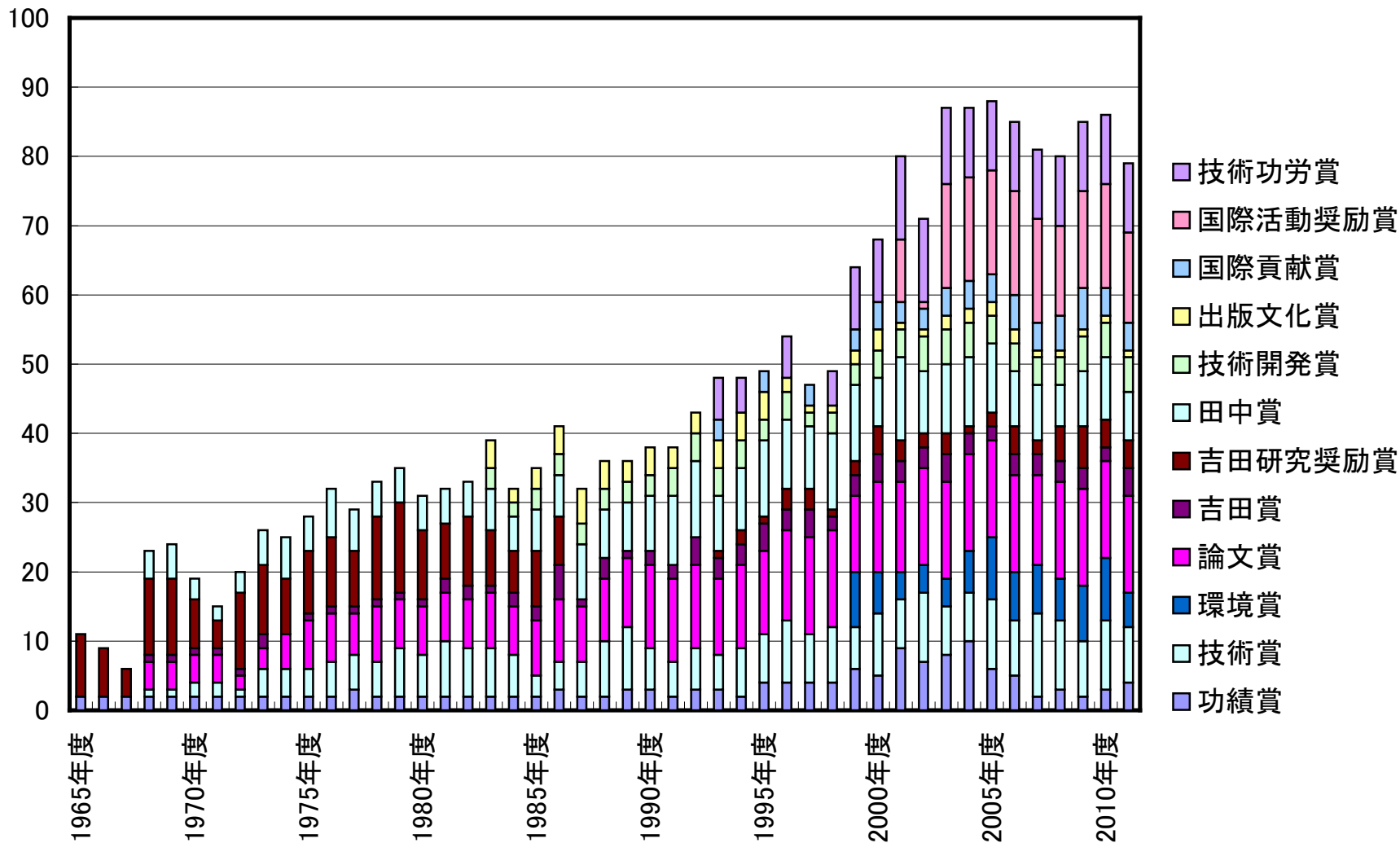
# 土木学会論文集 投稿・掲載・返却数

論文数(件)



# 土木学会賞 表彰件数

表彰件数

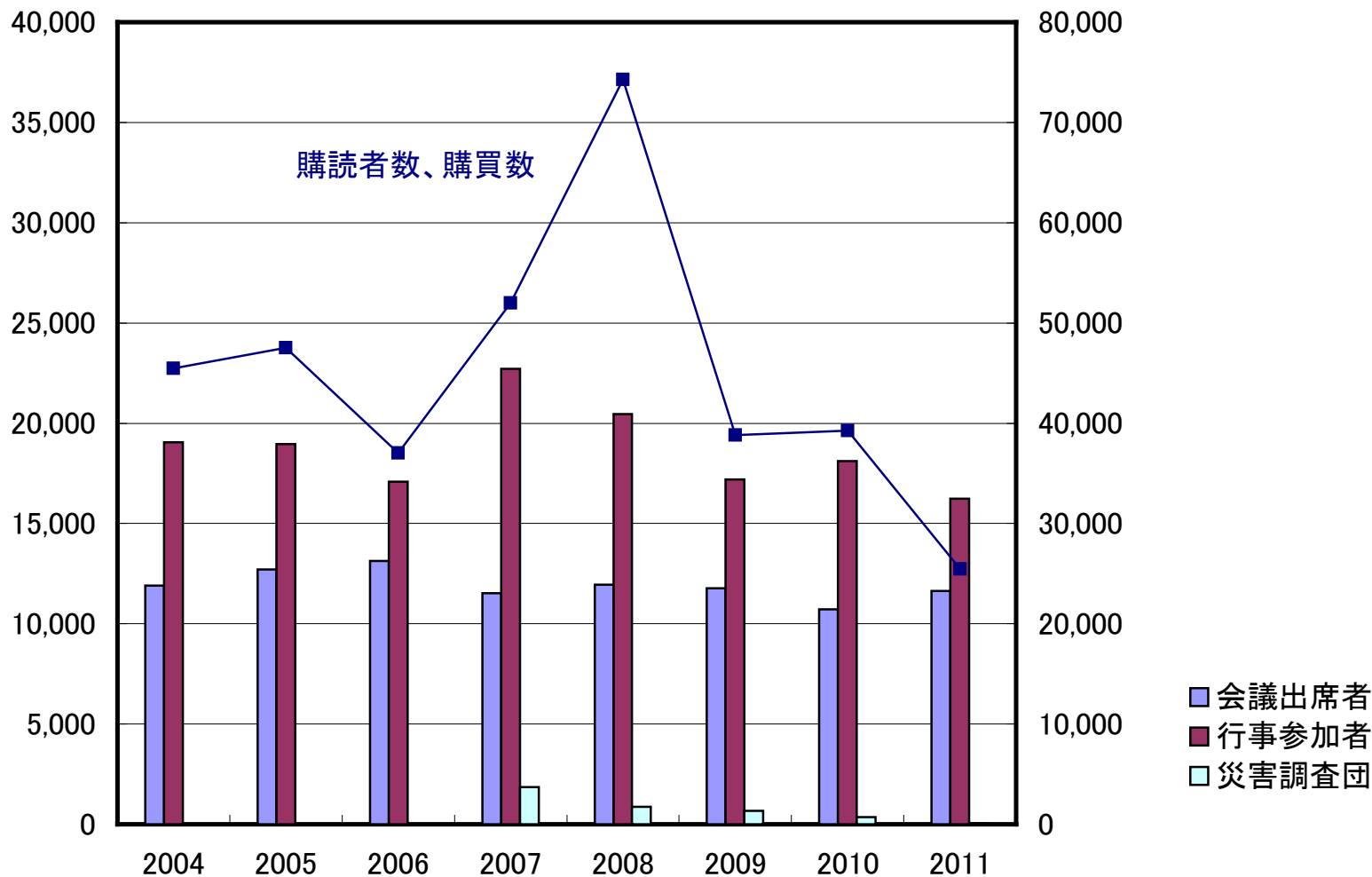




# 調査研究部門 委員会活動参加者数

出席者数、参加者数

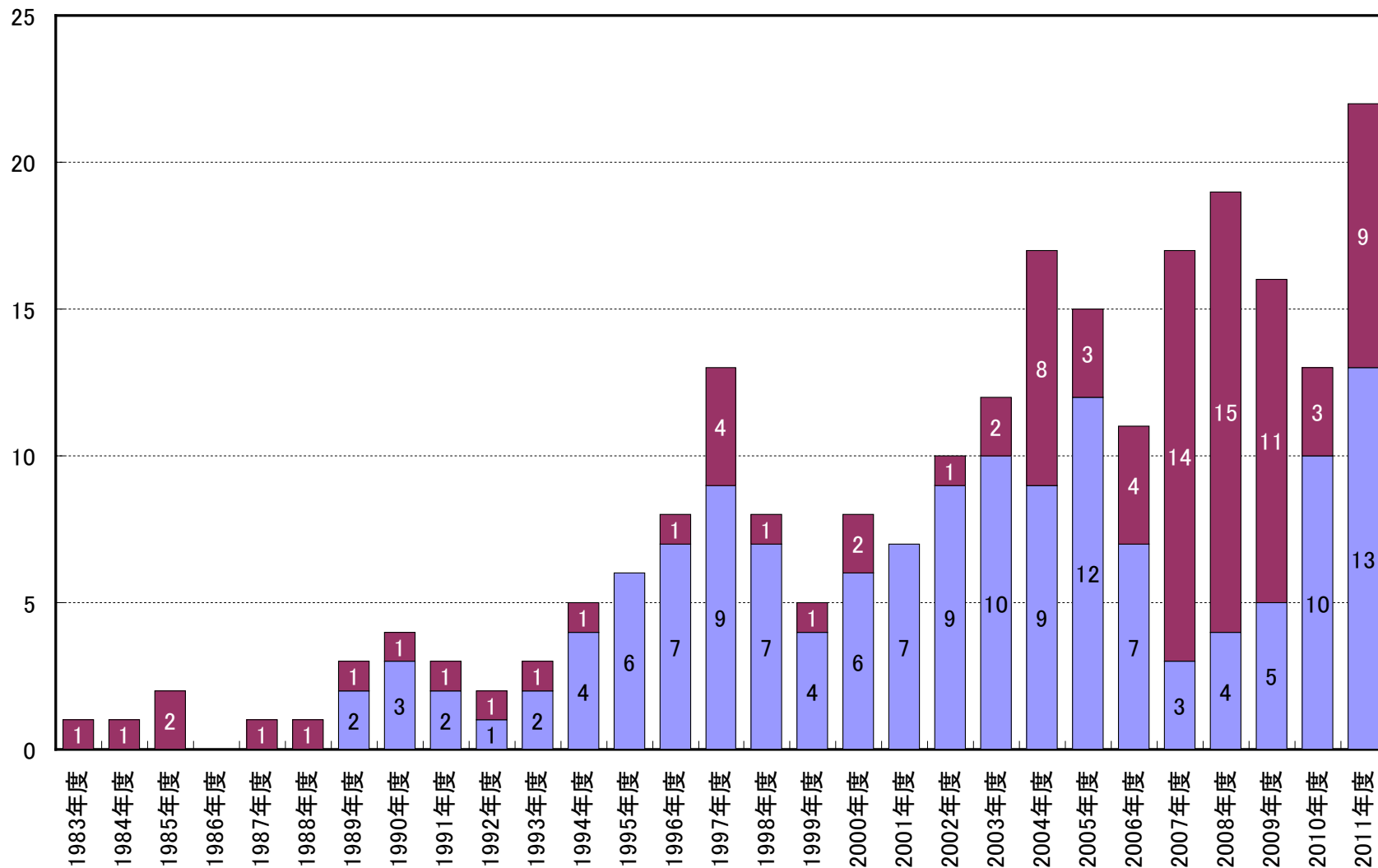
購読者数、購買数



- \* 会議出席者：小委員会以上の会議に出席した延べ人数
- \* 行事参加者：委員会が主催、共催した行事に参加した延べ人数
- \* 書籍購読・購買：委員会が関与して出版した書籍の購読者数あるいは購買数
- \* 災害調査団：災害調査団に派遣した委員の延べ人数、調査団が開催した報告会等の参加者数

# 記者発表数

発表数(回)



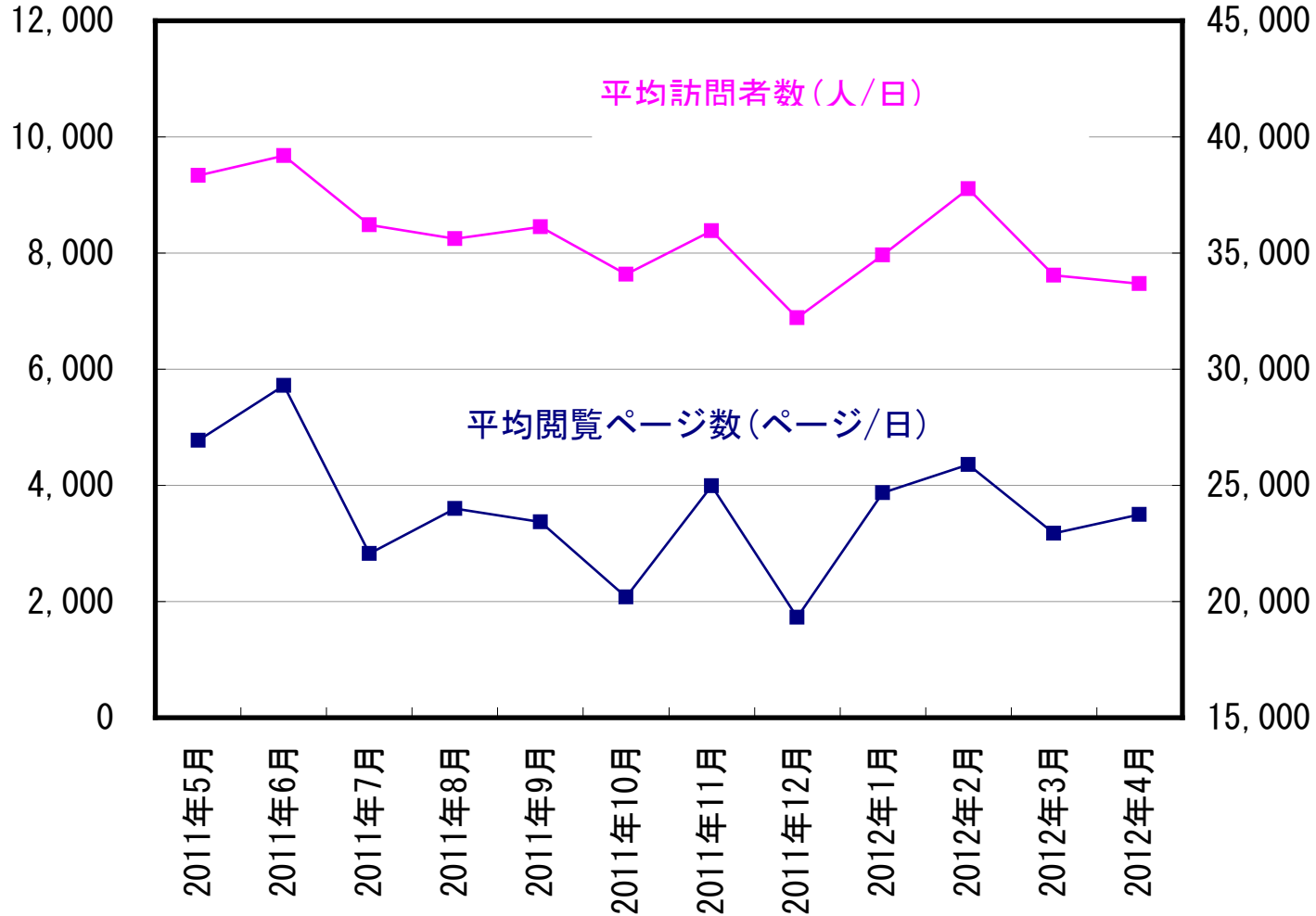
■ 災害関連速報会・報告会・懇談会記者発表：災害関連の速報会・報告会・懇談会

■ 記者発表数：土木学会賞、会長就任インタビュー、報道機関懇談会、「土木の日」会長インタビュー等

# 学会ホームページの閲覧状況

平均訪問者数  
(人/日)

平均閲覧ページ数  
(ページ/日)



# 論説一覧（2010年度）

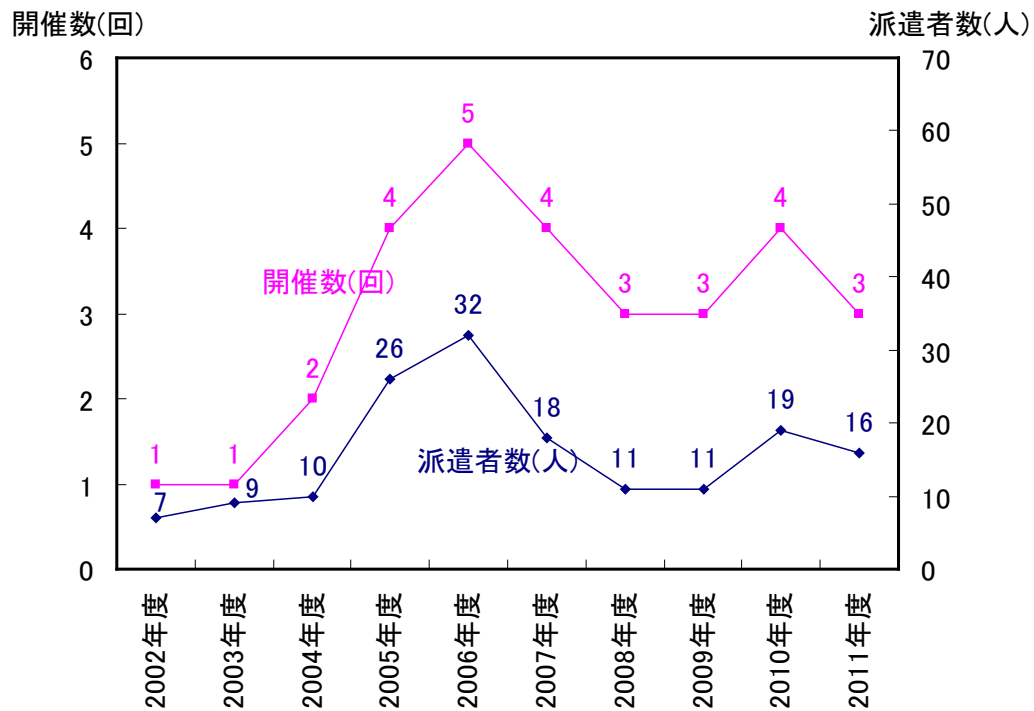
回	ホームページ 掲載年月	編	執筆者	論 題
第35回	2010年4月	(1)	立花 隆	シビル・エンジニアの新しいあり方
		(2)	西川 和廣	2050年の社会資本
第36回	5月	(1)	山川 朝生	公共工事契約制度、国際競争力の視点から見直しを
		(2)	財満 英一	日本発の技術を国際基準に
第37回	6月	(1)	曾野 綾子	水不足の世界で
第38回	7月	(1)	宮川 豊章	シナリオデザインのすすめ：平知盛の憂鬱
第39回	8月	(1)	河田 恵昭	首都壊滅
		(2)	村田 進	津波防災技術の世界への発信
第40回	9月	(1)	谷口 博昭	産学官パートナーシップで新世紀のインフラ整備・管理を
		(2)	島津 翔	技術者の責任には、相応の権利が必要だ
第41回	10月	(1)	家田 仁	技術者教育認定制度に何を求めるか？：教育の質と大学人、そして産業界
		(2)	福田 敦	JABEE認定・審査に対する評価と課題
第42回	11月	(1)	小磯 修二	北海道開発政策の意義
		(2)	竹村 公太郎	人口減少の未来へ向けて
第43回	12月	(1)	佐藤 慎司	合意形成の場における専門家の役割
		(2)	桑子 敏雄	合意形成における専門家の役割について
第44回	2011年1月	(1)	栢原 英郎	我が国の建設業が持つ社会的使命感
		(2)	橋本 鋼太郎	土木学の意義
第45回	2月	(1)	三村 信男	気候変動への対応とグリーン・イノベーション
		(2)	西川 和廣	電気自動車（EV）普及が拓げる道路インフラの可能性への期待
第46回	3月	(1)	富岡 征一郎	国際プロジェクトにこそ求められる現場力
		(2)	井口 直樹	国際土木プロジェクトの法的リスクの把握

# 論説一覧（2011年度）

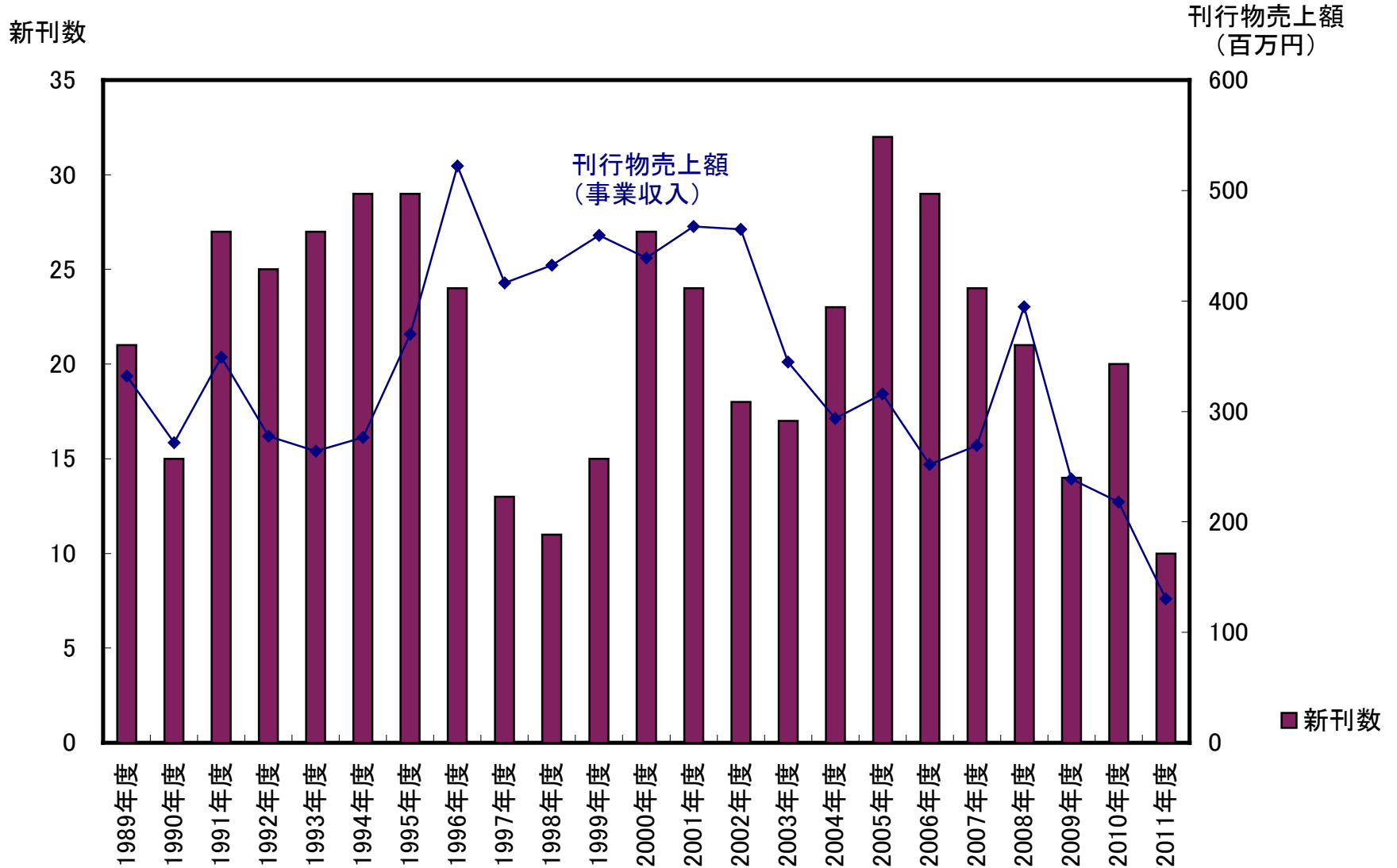
回	ホームページ 掲載年月	編	執筆者	論 題
第47回	2011年4月	(1)	大島 一哉	設計瑕疵の防止
		(2)	藤森 祥弘	新たな建設産業のパラダイムへ
第48回	5月	(1)	首藤 伸夫	文明を支える我々が今なすべきこと
第49回	6月	(1)	道奥 康治	理数科離れに対する土木分野からの視点
		(2)	原 恒雄	「脱官僚」、「政治主導」そして「大震災」
第50回	7月	(1)	河田 恵昭	津波災害の犠牲者を減らすリスクマネジメント
		(2)	辻本 哲郎	広域大規模水害に備える
第51回	8月	(1)	家田 仁	国際競争下の土木業界：大学の博士課程教育をどう考えるか？
		(2)	金井 誠	今後は許されぬ『未曾有・想定外』という言い訳—土木技術者の反省と決意—
第52回	9月	(1)	島津 翔	信頼回復に必要なのは「国家土木」ではなく「市民土木」
		(2)	木村 亮	土木技術者の原点
第53回	10月	(1)	磯部 雅彦	東北地方太平洋沖地震津波後の津波防災のあり方
		(2)	阪田 憲次	青頭巾
第54回	11月	(1)	甲村 謙友	復興計画の実現に向けて（国の視点）
		(2)	中井 祐	復興計画の実現に向けて
第55回	12月	(1)	谷口 博昭	未来を切り拓く骨太ビジョンの策定を
		(2)	辻本 哲郎	いまに生かそう「自然共生型流域圏管理」
第56回	2012年1月	(1)	石橋 忠良	構造物の技術基準について
		(2)	三村 信男	将来のリスクへの予見的対応の重要性
第57回	2月	(1)	道奥 康治	総合治水への期待と実質化に向けた課題
		(2)	村尾 公一	Civil EngineerのSpirit
第58回	3月	(1)	廣瀬 典昭	建設コンサルタントの海外展開 ～現地化のもう一つの視点～
		(2)	小林 潔司	国際化時代における土木専門教育

# 国際ジョイントセミナー開催数と派遣者数

	開催数(回)	派遣者数(人)	開催国別派遣者数(人)
2002年度	1	7	タイ:7
2003年度	1	9	韓国:9
2004年度	2	10	フィリピン:5、台湾:5
2005年度	4	26	モンゴル:6、バングラディッシュ:5、韓国:7、ベトナム:8
2006年度	5	32	インド:6、ベトナム:7、韓国:7、中国:5、タイ:7
2007年度	4	18	モンゴル:6、タイ:5、韓国:3、台湾:4
2008年度	3	11	スウェーデン:3、インドネシア:2、オーストラリア:6
2009年度	3	11	モンゴル:5、ネパール:3、ギリシャ:3
2010年度	4	19	トルコ:4、バングラデシュ:5、香港:3、カンボジア:7
2011年度	3	16	タイ:5、インドネシア4、カンボジア:7



# 新刊数と刊行物売上額の推移



# トークサロン参加者数

	開催日	テーマ	講師	参加者数
第1回	2003年4月7日	高速道路民営化の議論と社会資本	中村 英夫	110
第2回	2003年6月27日	地球水危機への処方箋を求めて	小池 俊雄	30
第3回	2003年9月29日	「オランダモデル」について	長坂 寿久	28
第4回	2004年2月16日	「少子高齢時代を生きるシビルエンジニア」の社会化について	尾田 栄章	40
第5回	2004年5月31日	フランスの公共事業におけるパブリック・インボルプメントの実践	田邊 忠顕	25
第6回	2004年6月21日	公共事業をどうとらえるべきか	大石 久和	61
第7回	2004年9月2日	国際化時代の土木	日下部 治	29
第8回	2004年11月8日	新分野に挑戦する建設業	米田 雅子	34
第9回	2005年4月4日	大河津分水と青山士・宮本武之輔	五百川 清	37
第10回	2005年7月4日	市民の声を活かしたみちづくり	屋井 鉄雄	42
第11回	2005年9月5日	絵画へのめざめ	栗村 成彦	23
第12回	2005年12月7日	地下鉄建設の歴史～ロンドンと東京～	矢島 隆	26
第13回	2006年5月18日	中部国際空港建設の歩みとコスト削減について	尾頭 嘉明	36
第14回	2006年8月29日	ITS 10年の歩みとアジアの動き	天野 肇	37
第15回	2006年11月27日	官から民へー首都高の課題と取り組みー	長谷川 康司	65
第16回	2007年3月19日	ふるさと東京の都市再生	斉藤 親	45
第17回	2007年7月10日	治水の歴史と新しい展開	近藤 徹	41
第18回	2007年10月10日	観光が国家政策の中心になる日	本保 芳明	27
第19回	2008年1月30日	地球温暖化の将来予測と建設業の役割	三村 信男	48
第20回	2008年5月15日	イノベーション・インフラとしてのユビキタス	坂村 健	40
第21回	2008年9月2日	最近の社会資本に関する論議について	森地 茂	63
第22回	2008年12月17日	「首都高緊急復旧工事の2ヶ月半 ー タンクローリー火災事故の復旧現場より ー」	和泉 公比古	48
第23回	2009年5月11日	フランスの建設技術のイノベーションと国際競争力	森元 峯夫	39
第24回	2009年9月7日	ハッテンライ！ 土木技術者・八田與一の本懐とは何か ～社会に土木の価値と役割を伝えたい～	古川 勝三	46
第25回	2009年11月27日	ダム計画を考える	山田 正	63
第26回	2010年2月24日	利根川流域の治水・利水とハツ場ダム	虫明 功臣	49
第27回	2010年5月10日	長良川河口堰事業 ～何が変わったか～	近藤 徹	48
第28回	2010年6月28日	利根川・荒川に依存する埼玉県の水資源について	黒川雅彦	35
第29回	2010年10月27日	日本の行く末	玉置和宏	29
第30回	2011年1月17日	エンジニア・アーキテクト協会の設立の意味	篠原 修	21
第31回	2011年4月13日	臥龍企業の国際化が日本を救う	戸堂 康之	24
第32回	2011年9月12日	大震災と科学技術	野家 啓一	25
第33回	2012年2月28日	日本人はなぜ大災害を受け止めることができるのか	大石 久和	39

\* 一部テーマ名を省略

トークサロンのページ: <http://committees.jsce.or.jp/kikaku/taxonomy/term/6>

参加者数 (人)



# イブニングシアター参加者数①

	上映月日	上映作品	上映場所					
第 1 回	2001 年 11 月 28 日	①石を架ける一石橋文化を築いた人々 他	攻玉社工科短大	32				
第 2 回	2001 年 12 月 19 日	①銀座の地下を掘る ②東名高速道路	攻玉社工科短大	46				
第 3 回	2002 年 1 月 23 日	①恵那山トンネル ②青函トンネル	攻玉社工科短大	40				
第 4 回	2002 年 2 月 20 日	①関門橋、②本州四国連絡橋一児島・坂出ルート	攻玉社工科短大	39				
第 5 回	2002 年 3 月 27 日	①松原・下釜ダム建設記録 ②川とともに 他	攻玉社工科短大	23				
第 6 回	2002 年 10 月 30 日	①海中基礎に挑むー明石海峡大橋ケーソン設置 他	攻玉社工科短大	27				
第 7 回	2002 年 11 月 27 日	①ある碑ー巨大吊橋を支える 他	攻玉社工科短大	45				
第 8 回	2002 年 12 月 18 日	①新たななる挑戦ー超大型泥水シールド 他	芝浦工業大	54				
第 9 回	2003 年 1 月 29 日	①長大橋の基礎を築くー本四架橋・南北備讃7A 他	芝浦工業大	41				
第 10 回	2003 年 2 月 26 日	①ニッポン近代化遺産への旅 他	土木学会講堂	57				
第 11 回	2003 年 5 月 28 日	①明日をつくった男ー田辺朝朗と琵琶湖疎水	土木学会講堂	200				
第 12 回	2003 年 6 月 25 日	①地域と自然との共生をめざす道づくり 他	土木学会講堂	54				
第 13 回	2003 年 7 月 30 日	①21世紀の架け橋ー第二名神高速道路 他	土木学会講堂	31				
第 14 回	2003 年 10 月 1 日	①日本の近代化を築いた人々	土木学会講堂	43				
第 15 回	2003 年 10 月 31 日	①掘るまいかー手掘り中山隧道の記録	土木学会講堂	90				
第 16 回	2003 年 12 月 10 日	①海峡をつないだ技術 ②関門橋	攻玉社工科短大	35				
第 17 回	2004 年 3 月 23 日	①阪神淡路大震災による道路の被災と復旧 他	土木学会講堂	49				
第 18 回	2004 年 7 月 21 日	①銀座の地下を掘る ②羽田海底トンネル	土木学会講堂	25				
第 19 回	2004 年 10 月 6 日	①よみがえる川 ②高潮に挑む	土木学会講堂	27				
第 20 回	2004 年 11 月 17 日	①礎いしずえ ②青函トンネル第一部	土木学会講堂	29				
第 21 回	2004 年 12 月 8 日	①掘るまいかー手掘り中山隧道の記録	土木学会講堂	41				
第 22 回	2005 年 1 月 26 日	①東名高速道路 ②北上川	土木学会講堂	23				
第 23 回	2005 年 2 月 23 日	①松原・下釜ダム建設記録 ②みんなの下水道	土木学会講堂	20				
第 24 回	2005 年 6 月 22 日	①明日をつくった男	土木学会講堂	42				
第 25 回	2005 年 8 月 24 日	①掘るまいかー手掘り中山隧道の記録 他	土木学会講堂	60				
第 26 回	2005 年 9 月 28 日	①海峡をつないだ技術、②関門橋	土木学会講堂	43				
第 27 回	2005 年 11 月 16 日	①有楽町線 掘進 10900米 ②多島海を結ぶ 他	土木学会講堂	35				
第 28 回	2006 年 1 月 25 日	①都市化が水害を招く、②洪水をなだめた人びと	土木学会講堂	31				
第 29 回	2006 年 2 月 15 日	①佐久間ダム・第2部	土木学会講堂	51				
第 30 回	2006 年 7 月 26 日	①大深度地下に築く駅、②軟弱地盤に挑む	土木学会講堂	65				
第 31 回	2006 年 8 月 30 日	①時を越えて ②次世代のアーチを架ける 他	土木学会講堂	51				
第 32 回	2006 年 10 月 25 日	①昭和49年多摩川狛江猪方地先災害復旧記録 他	土木学会講堂	47				
第 33 回	2006 年 11 月 29 日	①ザイールに架ける ②黎明のキリマンジャロ	土木学会講堂	48				
第 34 回	2007 年 1 月 31 日	①崩れ ②掘るまいか	土木学会講堂	58				
第 35 回	2007 年 2 月 16 日	①阪神大震災による道路の被災と復旧 他	土木学会講堂	58				
special ①	2007 年 7 月 11 日	①街の一体化と安全のために 目黒線不動前 他	文京シビックホール	45				

# イブニングシアター参加者数②

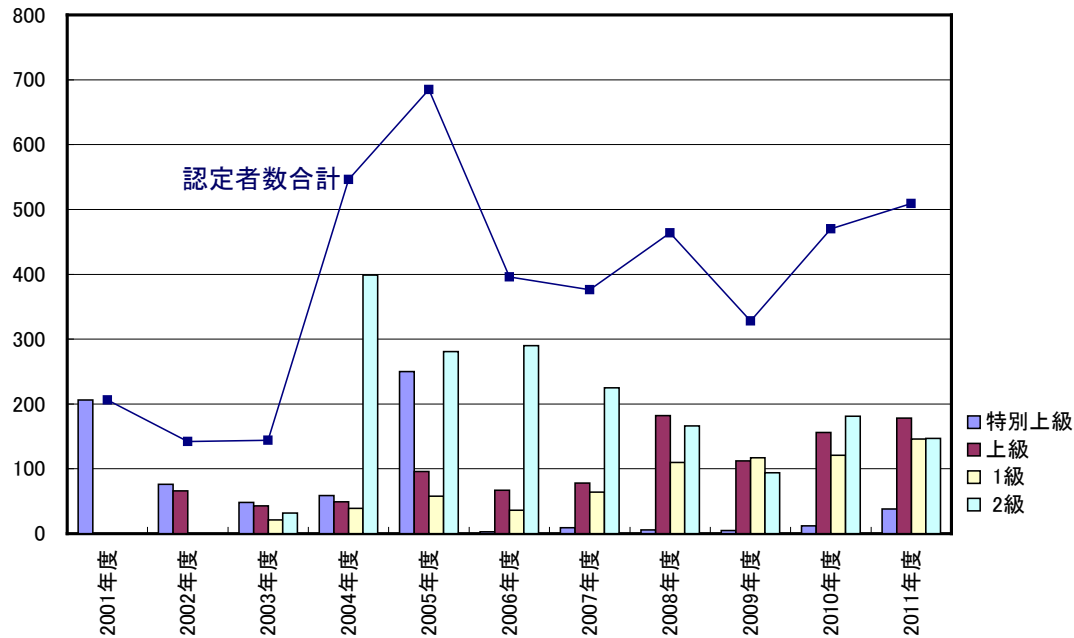
	上映月日	上映作品	上映場所	参加者数
第 36 回	2007 年 7 月 17 日	①街の一体化と安全のために 目黒線不動前 他	土木学会講堂	80
第 37 回	2007 年 8 月 29 日	①崩れ ②民衆のために生きた土木技術者たち	土木学会講堂	53
special ②	2007年9月12～14日	①街の一体化と安全のために 目黒線不動前 他	広島大学	545
第 38 回	2007 年 10 月 1 日	①石を架ける～石橋文化を築いた人びと～ 他	土木学会講堂	58
第 39 回	2007 年 11 月 1 日	①東京港に虹をかける 他	土木学会講堂	37
第 40 回	2007 年 12 月 5 日	①「荒川放水路物語～川がはぐくむ暮らしと文化」 他	土木学会講堂	52
第 41 回	2008 年 1 月 30 日	①「水とたたかった戦国の武将たち」 他	土木学会講堂	92
第 42 回	2008 年 5 月 27 日	①「荒川放水路物語～川がはぐくむ暮らしと文化」 他	文京シビックホール	325
第 43 回	2008 年 7 月 9 日	①「本州四国連絡橋～児島・坂出ルート」 他	土木学会講堂	94
special ①	2008 年 8 月 22 日	①人をたすけ国をつくったお坊さんたち 他	文京シビックホール	100
第 44 回	2008 年 8 月 27 日	①「おやとい外国人とよばれた人たち」 他	土木学会講堂	60
special ②	2008年9月10～12日	①「荒川放水路物語～川がはぐくむ暮らしと文化」 他	東北大学	458
第 45 回	2008 年 10 月 15 日	①「上総掘り」 他	土木学会講堂	77
第 46 回	2008 年 11 月 26 日	①「東京湾アクアライン(総集編)」 他	中央大学	83
special ①	2009 年 1 月 16 日	①佐久間ダム ②黒部の太陽(短縮版)	文京シビックホール	2100
第 47 回	2009 年 1 月 28 日	①阪神大震災による道路の被災と復旧 他	土木学会講堂	77
第 48 回	2009 年 3 月 25 日	①黒部川第四水力発電所建設記録 くらよん物語 他	文京シビック小ホール	254
第 49 回	2009 年 5 月 20 日	①崩れ ②飛騨トンネル先進工事の記録 他	土木学会講堂	100
第 50 回	2009 年 6 月 11 日	①首都高速道路を守れ—疲労き裂対策3000日の軌跡— 他	文京シビック小ホール	168
special ①	2009 年 8 月 3 日	①パッテンライ!!南の島の水ものがたり 他	文京シビック小ホール	285
第 51 回	2009 年 8 月 5 日	①水とたたかった戦国の武将たち 他	文京シビック小ホール	254
special ②	2008年9月2～4日	①パッテンライ!!南の島の水ものがたり 他	福岡大学	395
第 52 回	2009 年 10 月 21 日	①昭和34年 伊勢湾台風 他	土木学会講堂	69
第 53 回	2009 年 12 月 2 日	①苦闘海底破砕帯突破 新関門トンネル建設の記録 他	土木学会講堂	88
第 54 回	2010 年 1 月 20 日	①地域の安全を守る—水無川1号砂防ダムの記録— 他	土木学会講堂	96
special ①	2010 年 2 月 1 日	土木技術映像マラソン(連続10本上映) 青函トンネル(本坑貫通)	文京シビック小ホール	125
第 55 回	2010 年 5 月 19 日	①佐久間ダム 総集編 他	土木学会講堂	93
第 56 回	2010 年 7 月 7 日	①福井豪雨映像アーカイブス 他	土木学会講堂	71
第 57 回	2010 年 8 月 4 日	①明日をつくった男 他	土木学会講堂	68
special ②	2010年9月1～3日	余部鉄橋の記憶 他19本上映	福岡大学	418
第 58 回	2010 年 10 月 13 日	①復旧の軌跡—阪神・淡路大震災土木施設の災害 他	土木学会講堂	76
第 59 回	2010 年 11 月 24 日	①東京の新しい地下鉄～大江戸線環状部建設工事の記録～ 他	土木学会講堂	111
第 60 回	2011 年 1 月 26 日	①富士山を測る ②余部鉄橋の記憶 他	土木学会講堂	112
第 61 回	2011 年 7 月 6 日	①忘れない東海豪雨 ②余部橋りょう さらなる100年へ他	土木学会講堂	88
第 62 回	2011 年 7 月 6 日	①仙台空港PPC版敷設—新形式ジョイント工法を用いた— 他	土木学会講堂	74
第 63 回	2011 年 11 月 12 日	アフガンに命の水を (中村哲氏講演、中村哲氏・高橋裕氏対談)	中央大学	300
第 64 回	2011 年 12 月 9 日	①時を紡いで 悠久に架ける橋・宇治橋 他	土木学会講堂	68
第 65 回	2012 年 1 月 25 日	①関東大震災と世界の友情 ②橋の耐震技術最前線 他	土木学会講堂	111

0 100 200 300 400 500 600

# 技術者資格 認定者数

	特別上級	上級	1級	2級	合計
2001年度	206				206
2002年度	76	66			142
2003年度	48	43	21	32	144
2004年度	59	49	39	399	546
2005年度	250	96	58	281	685
2006年度	3	67	36	290	396
2007年度	9	78	64	225	376
2008年度	6	182	110	166	464
2009年度	5	112	117	94	328
2010年度	12	156	121	181	470
2011年度	38	178	146	147	509
合計	712	1,027	712	1,815	4,266

認定者数



# CPD認定プログラムの推移

プログラム数

1400

1200

1000

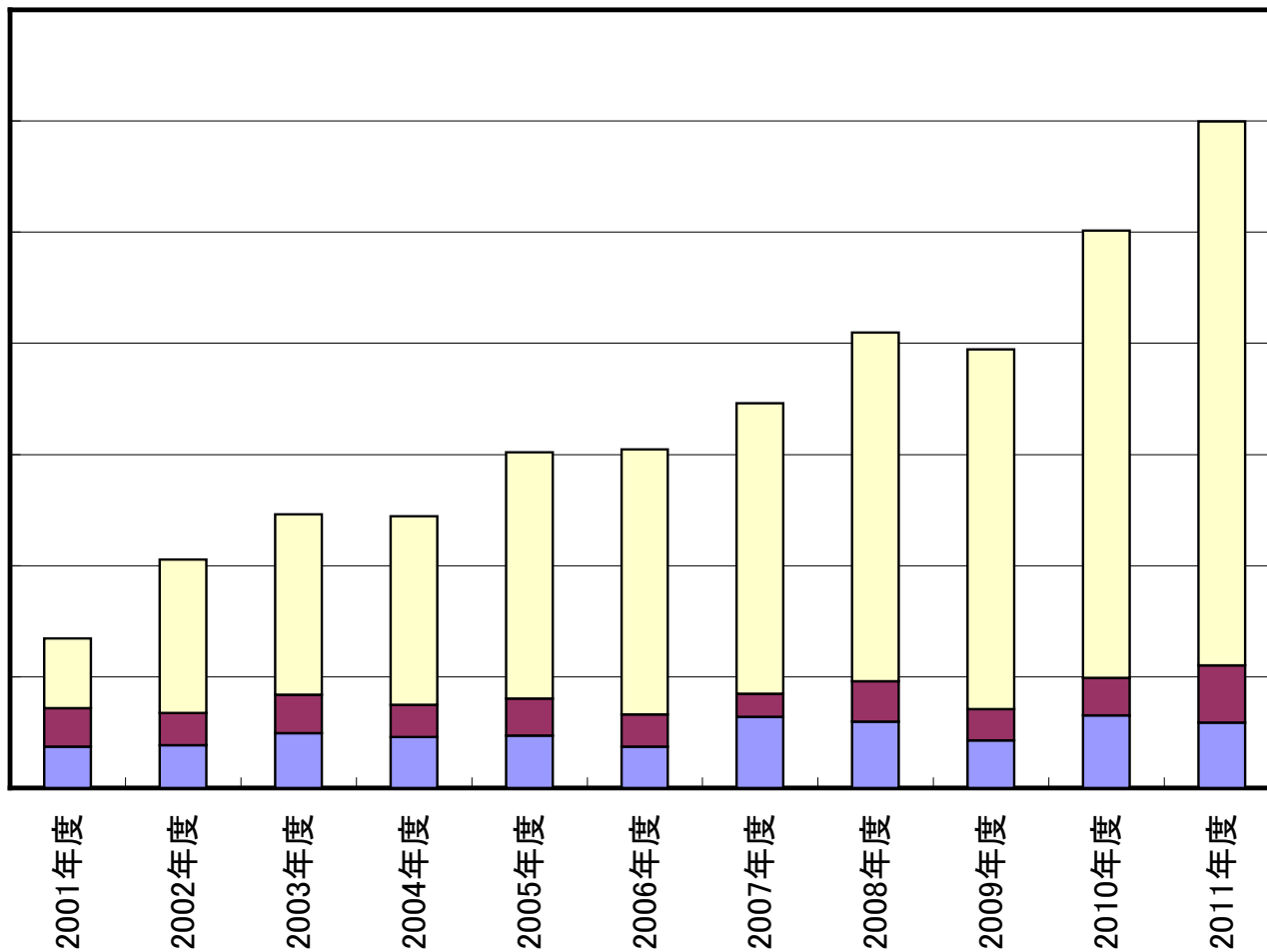
800

600

400

200

0



□ 他機関行事

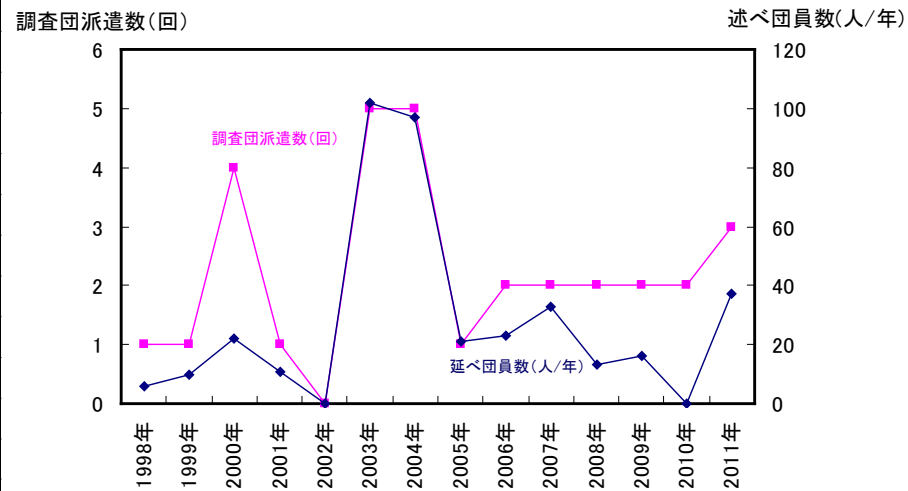
■ 支部行事

■ 本部行事

# 災害調査団派遣実績

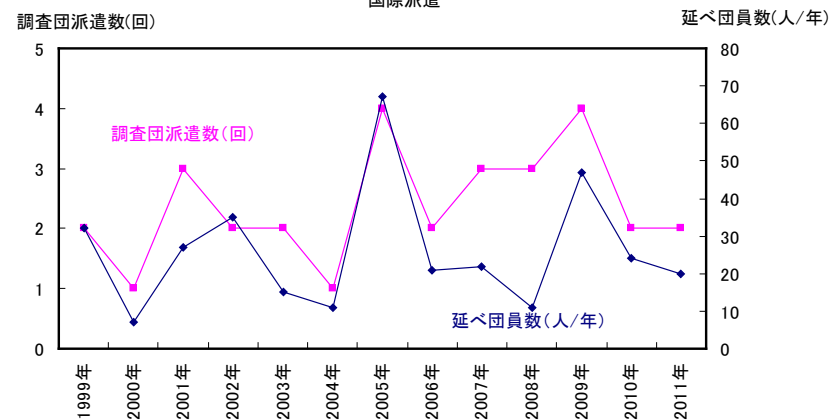
国内派遣	調査団派遣数 (回)	延べ団員数 (人/年)	災害名
1998年	1	6	福島・栃木・茨城水害
1999年	1	10	広島県土砂災害
2000年	4	22	有珠山噴火、神津島近海地震、東海豪雨災害、鳥取県西部地震
2001年	1	11	芸予地震
2002年	0	0	
2003年	5	102	三陸南沖地震、九州北部・中部豪雨災害、宮城県北部地震、平成15年8月台風10号豪雨災害・北海道胆振・日高地方災害、十
2004年	5	97	北陸豪雨災害、四国豪雨・高潮災害、平成16年9月台風21・22号災害、平成16年10月 台風23号災害、新潟県中越地震災害
2005年	1	21	福岡県西方沖地震
2006年	2	23	平成18年7月豪雨災害、平成18年11月北海道佐呂間町竜巻災害
2007年	2	33	能登半島地震、新潟県中越沖地震
2008年	2	13	岩手・宮城内陸地震、都賀川水難事故
2009年	2	16	防府土砂災害、兵庫県佐用町河川災害
2010年	2	-	中国地方豪雨災害、広島県庄原市土砂災害
2011年	3	37	新潟・福島豪雨災害、台風第12号土砂災害、上越地滑り災害

国内派遣



国際派遣	調査団派遣数 (回)	延べ団員数 (人/年)	派遣国・地域等
1999年	2	32	台湾、トルコ
2000年	1	7	メコン河
2001年	3	27	エルサルバドル、インド、ペルー
2002年	2	35	イラン、ヨーロッパ
2003年	2	15	トルコ、アルジェリア
2004年	1	11	イラン
2005年	4	67	スマトラ、アメリカ、パキスタン、インドネシア
2006年	2	21	ジャワ島、スマトラ
2007年	3	22	ペルー、スマトラ、バングラデシュ
2008年	3	11	インドネシア、中国、ミャンマー
2009年	4	47	イタリア、台湾、インドネシア、フィリピン
2010年	2	24	チリ地震、クライストチャーチ地震
2011年	2	20	タイ(水害)、トルコ(地震)



国際派遣



# 小中学校学習支援(理科・社会・総合)

時期	地域	対象学年	概要	写真	支援形式	支援団体
2012年6月	栃木	小学校5年生	環境問題について ①身近な例を挙げ、コンクリートに関する技術についての学習 ②コンクリートが人々の生活環境に対して果たしている役割について学習 ③実際にコンクリートの材料などに触れ、鉢植えを作りの体験		出前講座・実習	キッズプロジェクト検討小委員会
2011年10月 ～2012年1月	東京	小学校4年生	多摩川を題材に ①水質調査(水の汚れ調べ)の学習 ②水辺の動植物の観察についての学習		出前講座・実習	キッズプロジェクト検討小委員会
2007年7月	神奈川	小学校5年生	中庭に構築中のピオトープに川を設けるにあたり、何を考えて川の作成をするべきかを学ぶ。「川の出来るまで」「重力の役割」など。		出前講座 屋外、実習形式	生涯学習 小委員会
2006年6、7月	栃木	小学校	宇都宮大学工学部の大学院生による、「コンクリートの説明(講義)」と「モルタルづくり(実験)」に関する約140分の出前授業。モルタルで壁飾りなどを製作。		出前講義・実習	関東支部 栃木会
2006年5月	栃木	小学校	宇都宮工業高校の土木研究クラブの高校生による、環境問題に関する自作の紙芝居公演(講義)と清涼飲料水のpH試験(実験)を組み合わせた約50分の出前授業。		出前講義	関東支部 栃木会
2006年3月	奈良	小学校5年生	「有馬太閤橋」の工事記録ビデオを題材に総合学習の出前講義を実施し、建設業という職業を通して「仕事への思い」を伝えた。		出前講義 ビデオ貸出	FCC
2005年度	東京	小学校	「川とまちの共生」についての講義のあと、児童が考える「夢の目黒川」の計画を取りまとめ、発表会を実施した。		出前講義	生涯学習 小委員会
2005年2月	東京	小学校5年生	身近な環境の変化から、ヒートアイランド現象について勉強し、実際の透水性舗装材料にふれながら温度低下の効果を体感する。		出前講義	生涯学習 小委員会

# 支部行事開催実績①

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2011/8/2	親子現場見学会	虻田郡京極町 京極発電所建設所	親子による土木施設の現場見学を行い土木事業や技術の理解を深めていただいた。		一般34人	北海道支部
2011/10/19 2011/10/26	札幌市民カレッジ 2011秋期 「札幌の防災土木 現場を見る」	札幌市 豊平川雨水貯留管建設 事業	この講座では私たちの生活に密着に関係する防災について、札幌で現在進められている対策を、講義と現場見学で学んだ。		一般9人	北海道支部
2011/9/23	オープンラボin室蘭	室蘭市 室蘭工業大学	「室蘭工業大学際」において室蘭市内の一般市民を対象に、海岸構造物の模擬実験・コンクリートのクイズおよび及び強度試験に関する体験学習会を実施した。		一般310人	北海道支部
2011/10/16	PRイベント	北見市 北見文芸ホール	土木に関するPRのため、パネル展示や子供向けの縁日や記念品を配布した。土木に関する相談に応じアドバイスする。		一般約700人	北海道支部

# 支部行事開催実績②

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2011年11月26日 ～27日	●土木の日特別行事 東日本大震災に関する パネル展	宮城県 仙台市 仙 台駅コンコース	テーマ「3.11早期復旧への記録」とし、東日本大震災に 関するパネル展を行なった。		12,000名	東北支部
2012年1月12日	第3回 東北地方の橋梁 保全に関するシンポジウ ム	宮城県 仙台市 仙 台市情報産業プラザ	テーマ『耐震対策と橋梁保全のあり方』とし、橋梁保全 に関するシンポジウムを行なった。		400名	東北支部
2012年1月24日	●土木の日特別行事防 災に関するシンポジウム	宮城県 仙台市 仙 台ガーデンパレス	テーマ「東日本大震災と復興 ～防災と復興のための 人づくり、私が伝えたいこと～」とし、防災に関するシン ポジウムを行なった。		250名	東北支部
2012年3月3日	平成23年度技術研究発 表会共通セッション(講 演会)	秋田県 秋田市 秋 田大学	テーマを「日本海側から見た東日本大震災とその教訓 - 来るべき秋田沖地震に備えて -」とし、震災に関する 講演会を行なった。		100名	東北支部



# 支部行事開催実績③

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2011年8月27日	第17回コンクリートカー大会	荒川調整池「彩湖」	土木の主材料によるコンクリートでカーを作り、ものづくりの楽しさを実感してもらうための、コンクリートカー大会。		会員、一般 約480名	関東支部
2011年10月13日	研修会	新潟県 大河津分水 八箇峠トンネル	新潟県内の土木施設見学による知識、技術の向上を目的に研修。		会員・学生39人	関東支部 新潟会
2011年10月14日	土木学会山梨会講習会「構造物の長寿命化と防災対策」	山梨県 甲斐市 敷島総合公民館	以下の2テーマについて講習会を実施。 1. 建築物の地震防災対策 2. コンクリート構造物の長寿命化に関する現場管理のポイント		参加者数約180名 (会員、一般等の人数は把握していない)	関東支部 山梨会
2011年10月20日	定例会	新潟県 新潟グランドホテル	「大河津分水史再考」 今、公共土木事業像を考える と題した講演		会員54人	関東支部 新潟会
2011年10月23日	「建設フェスタ2011」 出展参加	茨城県 ひたちなか市 新光町 特設会場	1. 鉄道模型の鉄橋変位表示 2. コンクリート内部透視実演 3. ダム原理模型実演展示 4. 東北大震災茨城県内調査パネル 5. 選奨土木遺産パネル展示		茨城会ブース来場 一般 約300名	関東支部 茨城分会
2011年10月28日	ダム見学会	相模ダム 二居ダム	土木系の高校生・大学生に参加してもらった。相模ダムでは堤体の内部までを見学。二居ダムでは揚水発電の仕組みを学習。		会員1名 一般11名	関東支部 群馬分会
2011年11月1日 ～2012年2月29日 (応募期間)	「土木のある風景」 写真コンテスト	第39回技術研究発表会 時に展示(関東学院大 学金沢八景キャンパス)	技術研究発表会参加者投票(2012年3月13・14日)		応募点数:32 投票数:174	関東支部
2011年11月12日	土木の日見学会「中部横断道建設現場と周辺の環境施設を訪ねて」	山梨県	中部横断道田原川下部工事、八の尻トンネル、釜無川浄化センター等の見学。		会員8人 学生会員0人 一般61人	関東支部 山梨会

# 支部行事開催実績④

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2011年11月18日	現場見学会	「首都高横浜環状北線シールド工事」「東京ガス扇島工場LNG地下タンク建設工事」(神奈川県横浜市)	「首都高横浜環状北線シールド工事」は、横浜市の交通ネットワークの骨格を形成する「横浜環状道路」の北側区間。「東京ガス扇島工場LNG地下タンク建設工事」は、東京ガス(株)が天然ガスの需要拡大に対応するために同社扇島工場内に建設を進めている、液化天然ガス(LNG)タンクの建設工事。		一般37名	関東支部
2011年11月19日	親子見学会	鉄建建設株式会社 建設技術総合センター(千葉県成田市)、成田国際空港株式会社 誘導路土木工事	将来を担う子供たちに土木技術のすばらしさを紹介するために、土木の日記念行事として「親子見学会」。今回の見学先は、「鉄建建設 建設技術総合センター」の見学・体験と、「成田国際空港誘導路整備工事」。		8家族25名	関東支部
2011年11月20日	土木の日見学会	茨城県 ・ひたちなか市 ・行方市 ・土浦市	一般の方を対象に県内大型工事現場の見学会を実施 1. 湊大橋架設 2. 鹿行大橋架設 3. 朝日トンネル工事		一般参加18名	関東支部 茨城分会
2011年11月22日	第29回研究調査発表会	新潟県 長岡市 ハイブ長岡	多様化する土木技術の実情を把握するとともに、より一層の技術の向上を目指す目的		会員・学生 329人	関東支部 新潟会
2011年11月23日	「土木の日」記念講演会	新潟県 新潟市 朱鷺メッセ	「私たちの暮らしを守る大河津分水路について」の報告と 「原子力・放射線の基礎知識とその影響について」の講演		一般163人	関東支部 新潟会
2011年11月30日	建設遺産見学会(県北編)	茨城県 ・北茨城市 ・高萩市 ・常陸太田市 ・水戸市	1.十石堀(江戸時代) 2.石岡第二発電所(大12年) 3.花貫川第二発電所第三号水路橋(大8年) 4.町屋橋(昭2年) 5.央橋(昭12年) 6.旧幸久橋(昭10年) 7.大手橋(昭10年)		茨城会会員他 20名	関東支部 茨城分会
2012年3月23日	学生向け社会科見学会	首都圏外郭放水路および渋谷駅周辺整備事業(地下広場)	社会科見学は、将来の“土木の力”の一翼を担う学生さんに対して、普段見ることのない土木施設を直接見学することで、土木に対する関心を深め、社会資本整備への理解と事業紹介を行うことを目的として開催しています。		学生25名	関東支部





# 支部行事開催実績⑤

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2011年8月29日	エクスカージョン 「飛騨高山の歴史散策」	飛騨・高山	愛知社会科教育研究会海部支部 地域の歴史・文化を通して、社会基盤への理解を広める		20人	中部支部
2011年11月23日	土木の日親子ふれあい見学会 「中部水辺環境を学ぼう!!」	愛知県	堀川～名古屋港～木曾三川～船頭平閘門		一般30人	中部支部
2011年11月25日	市民対象講座 「東海・東南海・南海地震に備えて」	名古屋 通信会館	「大規模震災発生時の緊急対応について ～阪神・淡路および東日本大震災からの教訓を生かして～」 「液状化を考える ～東日本大震災の分析と課題を通じて～」		一般127人	中部支部
2011年12月4日	エクスカージョン 「名古屋港・木曾三川下流を巡る」	愛知県	木曾三川～船頭平閘門		教育大学学生 9人	中部支部

# 支部行事開催実績⑥

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2011年6月4日	(主催)一般市民対象見学会 ～僕らの水はどこからくる? どこへいく?? ～琵琶湖からつながる水の道 探検!	いろは呑龍トンネル、 琵琶湖疎水記念館、 アクア琵琶、 南郷洗堰	滋賀県から京都府に至る琵琶湖疎水を中心に土木施設、土木工事現場を見学		157名	関西支部
2011年6月12日	(主催)年次学術講演会	関西大学 千里山キャンパス	毎年、土木学会関西支部において開催されている年次学術講演会である。第I部門から第VII部門まで、302件の発表となっている。土木およびその関連分野に関心のある実務者、研究者を対象とし、継続教育に資するような、現在の技術や状況等、幅広い内容が理解できるものと考えられる。		692名	関西支部
2011年8月4日	(共催)『通学路地震ハザードマップの作成レシビ』小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教職員	JICA兵庫 人と防災未来センター	将来の社会を担う子供たちに暮らしを支えている社会資本整備や災害のメカニズムなどを伝えることが重要と考え、土木と学校教育とをつないでいく取り組みとして、学校教育に携わる教職員の方を対象にした講習会		39名	関西支部
2011年8月10日	(主催)維持管理の時代を迎えた土木技術者の役割と技術伝承に関する特別講演会	建設交流館	前年度に土木学会関西支部副支部長を務めていただいたお二人を講師に迎え、支部会員の資質の向上および会員へのサービス向上を目的とする。主に若手技術者から中堅技術者を対象とした特別講演会である。		210名	関西支部
2011年8月17日	(共催)『いのちを守る建物耐震技術』小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教職員	兵庫県広域防災センター 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター(E-ディフェンス)	将来の社会を担う子供たちに暮らしを支えている社会資本整備や災害のメカニズムなどを伝えることが重要と考え、土木と学校教育とをつないでいく取り組みとして、学校教育に携わる教職員の方を対象にした講習会		38名	関西支部
2011年8月18日	(共催)コンクリートカヌー競技大会	兵庫県立円山川公苑	土木技術の面白さを広く地域社会にアピールするとともに、高校土木科のイメージアップを図る。また、土木工学の基礎であるセメント(モルタル)を使って創造力を養う狙いもあり、高校土木科の課題研究の一つとして実施されている。		15校19艇	関西支部
2011年10月22日	(主催)小中高生対象見学会 探検! 電車の秘密基地と道路ができるまで!	阪堺電気軌道我孫子道車庫、 阪神高速淀川左岸線工事現場	車両設備やシールドトンネルの見学及び鉄筋組立に関する体験		133名	関西支部

# 支部行事開催実績⑦

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2011年11月1日～2日	(共催)建設技術展 2011近畿「学生のためのキャリア支援」	マイドームおおさか	土木関連業界って？どんな仕事？何が出来るの？いろいろな疑問にお答えします！（土木関連業界についての概要説明、自由に質問できる個別説明会、出展企業のブース訪問）		160名	関西支部
2011年11月1日～2日	(共催)建設技術展 2011近畿「土木実験・プレゼン大会」	マイドームおおさか	どうして？なぜ？が人目でわかる土木実験		250名	関西支部
2012年1月27日	(主催)新春講演会・交流会	建設交流館	土木学会関西支部が会員交流の活性化と継続教育を意図して行うものである。土木学会員を対象とし、土木技術を取り巻く状況や関連分野の動向についての理解を促すことを目標としている。関西大学理事・社会安全学部長・教授で、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長の 河田 恵昭 先生 による講演を行った。		207名	関西支部
2012年2月24日	(共催)平成23年台風第12号による被害調査報告会	ドーンセンター	2011年9月に発生し、紀伊半島を中心に甚大な被害をもたらした「2011年台風第12号」の被害状況に関する調査結果等の報告を行った。		231名	関西支部



# 支部行事開催実績⑧

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2011年7月～9月	第4回「身近な土木を描いてみよう！図画コンクール」	広島県下	次世代を担う子どもたち(小中学生)に「土木(社会資本整備)」を描くことで、普段生活している場所、何気なく見ている物が土木技術に支えられていることの認識を少しでも感じ、土木に親しんでもらう目的で実施。		応募件数 小学生:707枚 中学生:186枚 合計:893枚	中国支部
2011年10月15日	一般国道2号・西広島バイパス廿日市高架橋ウォーキングイベント (廿日市市と共催)	廿日市市 平良～ 地御前	高架橋の開通する前に、ウォーキングや建設用機械・資材の見学を通して土木を身近に感じ、公共事業に対して理解をした。		周辺の小中学生 231名	中国支部
2011年11月10日 ～23日	第4回「身近な土木を描いてみよう！図画コンクール」 優秀・佳作作品展示	広島市 市民交流プラザ	第4回「身近な土木を描いてみよう！図画コンクール」 優秀作品13点、佳作作品50点を展示		展示期間中 約300名	中国支部
2011年11月12日	広島高速道路 親子見学会 (広島高速道路公社 と共催)	広島高速3号建設現場	高速3号線の橋脚の施工状況を見学し、ヤード内の高所作業車に搭乗したり、測量機器で測量を行い、土木に対する理解と土木技術の素晴らしさを感じた。		小学生3年～6年と 保護者 45名	中国支部
2011年11月21日	ハイウェイ ちびっこセミナー (西日本高速道路株 中国支社と共催)	西日本高速道路株中国 支社	高速道路の役割やコンクリート試験練り体験や強度試験を見学して、地域の暮らしを支える「土木」について考えた。		周辺の小学5年生 259名	中国支部
2011年11月23日	第4回「身近な土木を描いてみよう！図画コンクール」 優秀作品表彰式	広島市 市民交流プラザ	第4回「身近な土木を描いてみよう！図画コンクール」 優秀作品13点を表彰。作品は2012年のカレンダーにして贈呈。		表彰式に参加した 親子65名	中国支部

# 支部行事開催実績⑨

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2011年5月14日	技術研究発表会 フォーラム	香川県 香川大学工学部	東北・関東地方の被災状況の報告と、現時点における東南海・南海地震に対する防災・減災対策の在り方について意見交換を行う。		一般190名	四国支部
2011年7月31日	吉野川干潟 環境観察会	徳島県 徳島市 吉野川河口干潟	ラムサール条約登録を目指す吉野川河口に広がる中州干潟で、当干潟のシンボル希少種であるシオマネキ、塩生植物などを直接見ることができ、参加者は大いに楽しみ、学びました。		一般41名	四国支部
2011年10月23日	香川地区「土木の日」 土木施設の見学バスツアー	香川県 小豆島、高松サンプォート 合同庁舎	小・中学生を対象とし、生活の身近にある水を供給する施設となる新内海ダムと、四国地方の防災拠点施設となっている高松サンプォート合同庁舎の見学をし、土木の関心を高めてもらった。		小・中学生、保護者70名	四国支部
2011年11月14日	「土木の日」 記念講演会	香川県 サンプォートホール高松	来るべき南海地震に対する四国としての地震・津波対策において、今後さらに強化すべき事項について考える。		一般120名	四国支部
2011年11月24日	高知地区「土木の日」 高知県建設バス	高知県 五台山トンネル工事現場	高知県内の土木科の高校生を対象に、県道高知南インター線地域活力基盤創造交付金(五台山トンネル)工事現場の見学。		高校生34名	四国支部
2011年12月12日	南海地震四国地域 学術シンポジウム	香川県 サンプォートホール高松	四国の各行政機関の東南海・南海地震対応への取り組みの紹介と各研究機関が有している学術・技術研究の現状と東南海・南海地震研究に向けた今後の課題を検討する。		一般125名	四国支部
2012年3月21日	自然災害フォーラム	香川県 サンプォートホール高松	自然災害による被害の軽減を目的に、特別講演と一般講演を通じて災害調査や災害研究に関する情報の共有を図る。		一般120名	四国支部

# 支部行事開催実績⑩

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	支部名
2011年7月28日	平成23年度 親子バス見学会	東九州自動車道 トンネル現場  遠賀川水辺館	「土木」への理解を深めてもらうこと を目的に、小学生を対象とした 「親子見学会」		大人13名 子供14名	西部支部
2012年3月3日	平成23年度 研究発表会	鹿児島大学 郡元キャンパス	支部会員を対象とした、土木工学や土木技術等に関する研究、技術成果を持ち寄り発表することにより、会員間の有益な情報を交換する場として毎年開催。I部門からⅦ部門まで512題の発表があった		650名	西部支部